＜2019年度＞

第８回理事会議案書

２０２０年　２月１３日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

２０１９年度
第８回理事会 議事次第

一般社団法人 全 国 鐵 構 工 業 協 会

場　　所：　全構協　第１会議室

日　　時：　2020 年 2 月 13 日（木）
14：00～17：00

１．開会の辞

２．定足数確認報告（定款第 36 条）

３．会長挨拶

４．前回理事会議事録の確認

５．審議事項

資　料

第１号議案　2020 年度 鉄骨技術研究開発助成
対象案件承認の件 ---------- [理 19-8-議 1] <別紙>

６．報告事項

(1) 2020 年度予算編成の前提･考え方について---------- [理 19-8-報 1] <p4>

(2) 「働き方改革」統一目標の周知状況報告 ---------- [理 19-8-報 2] <口頭>

(3) NDI-UT(ﾚﾍﾞﾙ 1)基礎講座(試験対策講習)の実施報告 ---------- [理 19-8-報 3] <p5-6>

(4) 「鉄工技能士」に係る特記変更検討について ---------- [理 19-8-報 4] <口頭>

(5) 委員会等報告 ①運営委員会 ---------- [理 19-8-報 5①] <口頭>
②技術委員会 ---------- [理 19-8-報 5②] <p7、別紙>
③教育･人材育成委員会 ---------- [理 19-8-報 5③] <p9-10>

(6) その他
･報道機関等に対する情報管理について

７．その他の事項

(1) 構成員登録状況 ---------- [理 19-8-他 1] <p12-16>

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ---------- [理 19-8-他 2] <p17>

(3) 主要会議日程 ---------- [理 19-8-他 3] <p18>

(4) 支部報告 ---------- [理 19-8-他 4] <p19-27>

(5) その他

８．閉会の辞

以上

第1号議案

鉄骨技術研究開発助成金の 2020 年度助成対象案件の採否に関し、2 月 4 日に開催した選考委員会の選考結果＜別紙参照＞について、承認の決議をいただきたい。

報 告 事 項

2020.02.13.

2020年度予算編成の前提･考え方

Ⅰ. 経常収益

① 会費
○ 年会費: 会費規程で定める金額から10%減額する。

○ 構成員数: 年度を通して変わらないことを前提とする。（但し、新規登録、登録取消各々30社見込む）

2. 検査技術者養成事業収益
○ 任意講習（実技講習、更新講習）の受講者見込み数を算定し計上する。

3. 共済事業収益
○ 団体生命保険、指定塗料、鋸刃、カーリース、損害保険(労災保険)の各事業に係る収益を計上する。

4. 事務請負事業収益
○ 教育センター、評価機構及び支援協議会から受託する業務に係る収益を計上する。

5. その他
○ 高規格材鉄骨製作支援制度の申請料（6社見込み）を計上する。〈3,000千円〉

Ⅱ. 経常費用

1. 管理･運営
○ 役員改選にともなう退任役員に対する慰労金を計上する。

○ 新三役による各支部との意見交換会参加費用を計上する。

○ ウエルディングショー出展費用を繊込む。<800千円程度>　※2019年度中<1,000千円程度>

○ Windows10への切替（PC、ソフト）費用を繊込む。<7,000千円程度>

2. 技術開発普及事業
○ 研究開発助成費用を計上する。〈助成額 6,000千円程度、運営費 1,000千円程度〉

○ サポート制度費用として、350社分計上する。<7,875千円>

○「見積条件統一様式」「工程管理表」の周知費用を計上する。<3,000千円程度>

○ 関連団体（鉄骨製作支援協議会4WG、日本溶接協会など）との連携及び委員派遣に要する費用を計上する。〈3,000千円程度〉

○ 技術関係及び安全･衛生関係の資格取得を支援するための費用を計上する。〈30,000千円程度〉

○ 鉄骨技術審議会、建築鉄骨協議会、鉄骨技術ｱﾄﾞﾊﾞｰｻﾞｰの活動費用を計上する。<3,000千円程度>

3. 検査技術者養成事業
○ 任意講習（実技講習、更新講習）の受講者の見込み数に応じて算定し計上する。

○ 製品実技講習用試験体（試作品）の製作費を計上する。〈2,000千円程度〉

4. 会員共益事業
○ 構成員への情報発信･広報充実に向けて、HP見直し費用を繊込む。<2,000千円>

○ 特別WG（高規格材支援、無線ｸﾚｰﾝ免許）会議開催費用を計上する。

○ 青年部会との意見交換会開催（11月）費用を計上する。<3,000千円>

○ 青年部会への助成金は、各県に直接支給する形で継続する。<47×100千円>。

○ 賛助会員との連携強化に向けて、懇談会実施(9月)費用を繊込む。<500千円>

○ 工場認定条件の中間確認（検査管理体制の保持状況確認）の各県事務局への委託費については、県別確認対象工場数を調査のうえ適正な金額を計上する。

○ 教材（検討WG）作成費用（原価早分り、決算書演習）を計上する。<1,500千円程度>　※2019年度中<1,000千円程度>

5. 共済事業
○ 支部共済推進会議の開催支援（継続）費用を計上する。<3,000千円>

6. 事務請負事業
○ 教育センターから受託する、検査技術者関連業務 [試験、登録 等] 及び製作管理技術者関連業務の一部に係る費用を計上する。

7. その他（共通費等）
○〔給与手当、法定福利費 他〕中途採用者1名に係る費用を計上する。

○ 給与は、全国の賃金改定動向を参考にして、相応の改定を繊込む。

以上

2020.2.13

2019年度 「NDI-UT レベル1 基礎講座」 実施結果

支部	会場	開催日	申込み者数		事務窓口 (事務委託先)	収入 (受講料)	支出 (講師料・運送費・事務委託費)	収支
東北	ポリテクセンター宮城 (多賀城)	10/10(木)～15(火) ※12(土)を除く	14		東北支部 (岩手県鉄構工業協同組合)	154,000	427,000	▲ 273,000
関東	ポリテクセンター群馬 (高崎)	10/18(金)～22(火)	10	49	関東支部 (群馬県鐵構業協同組合)	539,000	2,972,500	▲ 2,433,500
		10/23(水)～27(日)	11					
	高度ポリテクセンター (海浜幕張)	12/16(月)～20(金)	16					
		12/23(月)～27(金)	12					
北陸	ポリテクセンター石川 (金沢)	11/1(金)～5(火)	20		北陸支部 (富山県鉄骨工業協同組合)	220,000	710,000	▲ 490,000
中部	ポリテクセンター静岡 (静岡)	12/6(金)～10(火)	15	46	静岡県鐵構工業協同組合	506,000	1,583,500	▲ 1,077,500
	ポリテクセンター中部 (小牧)	11/27(水)～12/1(日)	19		愛知県鉄構工業協同組合			
	ポリテクセンター三重 (四日市)	11/8(金)～12(火)	12		三重県鐵構工業協同組合			
近畿	ポリテクセンター関西 (摂津)	11/15(金)～19(火)	20	50	近畿支部 (京都府鉄構工業協同組合)	550,000	1,475,000	▲ 925,000
		11/20(水)～24(日)	13					
	ポリテクセンター兵庫 (尼崎)	1/16(木)～20(月)	17					
中国	ポリテクセンター広島 (広島)	12/2(月)～6(金)	17		中国支部 (協同組合広島県鉄構工業会)	187,000	325,000	▲ 138,000
九州	ポリテクセンター福岡 (北九州)	1/8(水)～12(日)	19	31	九州支部 (協同組合大分県鉄構工業会)	341,000	904,000	▲ 563,000
	ポリテクセンター沖縄 (北谷)	1/25(土)～29(水)	12		協同組合沖縄県鉄構工業会			
合計	12会場	15コース	227		その他	245,346	92,300	153,046
						2,742,346	8,489,300	▲ 5,746,954

2020.1.31

「NDI-UT レベル1 基礎講座」 受講者内訳

	S	H	M	R	J	未	非構成員	受講者数		会社数	
北海道								0	0	0	0
青森			3					3	14	1	10
岩手			3			1		4		3	
宮城			1					1		1	
秋田		2						2		1	
山形								0		0	
福島		1	1	2				4		4	
茨城		1						1	49	1	39
栃木		1		2		1		4		4	
群馬		5	3	5				13		9	
埼玉		1						1		1	
千葉		2	11	3				16		13	
東京		2	5			1		8		5	
神奈川			2					2		2	
新潟		2						2		2	
山梨								0		0	
長野						2		2		2	
富山		6		1				7	20	4	13
石川		6	1	3				10		7	
福井			3					3		2	
岐阜			1	2	2	1		6	46	6	35
静岡		4	9	2				15		10	
愛知		2	7	2		2		13		10	
三重			9	3				12		9	
滋賀		1		2				3	48	2	41
京都			4	5		2		11		10	
大阪		2	4	2	2	2		12		12	
兵庫		7	5	3		1		16		12	
奈良			4	1				5		4	
和歌山				1				1		1	
鳥取			2					2	17	2	14
島根								0		0	
岡山				3				3		2	
広島		4	5	1				10		8	
山口			1	1				2		2	
徳島								0	2	0	1
香川								0		0	
愛媛		2						2		1	
高知								0		0	
福岡			8			1		9	31	9	25
佐賀								0		0	
長崎			4					4		3	
熊本								0		0	
大分		1						1		1	
宮崎		1						1		1	
鹿児島		4						4		1	
沖縄		5	1			6		12		10	
合計	0	62	97	44	4	20	0	227		178	
構成員数	5	268	825	608	51	445		2,212		2,212	
申込み率	0%	23.1%	11.8%	7.2%	7.8%	4.5%		10.3%		8.0%	

2019年2月13日
技術委員会

「見積条件書」「工程管理表」の周知について（案）

2019年度全構協事業計画に基づき技術委員会が作成した「見積条件書」及び「工程管理表」の各様式について、当協会構成員に広くご活用いただくため、下記の周知方法を提案する。

記

1．成果物

①「見積条件書」（エクセル版）

見積時に客先に提示する条件及び見積範囲について、物件ごとに作成しやすい様式にした。
業界が統一した様式を使うことで、契約事項を明確にする商慣習を目指す。

②「工程管理表」（エクセル版）

工作図が承諾されるまでの進捗状況を一覧でわかる様式にした。
客先と進捗状況を共有することで、図面担当者の負担軽減化を図る。

2．配布方法

1）両成果物（操作マニュアルを含む）を収録したＣＤ版を各県に１部送付する。（３月）
2）全構協会員専用ホームページに掲載し、常時ダウンロードできるようにする。（４月以降）

3．周知（案）

1）支部毎に、各県代表者１名を対象とした説明会を開催する。
・支部ごとの説明会講師は、所属支部の技術委員が担当する。
・各県代表者１名は、各県が選任し、県内の説明会講師や周知活動を担っていただく。
・「見積条件書」「工程管理表」の他に「仮設金物原価算出シート」も行う。（所要時間60分程度）
・５月までに行う。

2）県組合毎に、構成員を対象とした説明会を開催する。
・支部毎の説明会を受講した各県代表者が講師を担当する。
・講習内容は前述の通り。
・支部毎の説明会修了以降、適時に行う。

※　1）2）の説明会開催補助は、別途検討する。

以上

新人教育用マニュアル

目　次

はじめに

1章　自社の説明
1．会社概要／2．沿革／3．実績／4．保有資格／5．組織／6．経営理念／
7．就業規則／8．自社のルール

2章　社会人としてのマナー
1．挨拶／2．身だしなみ／3．電話・客人対応／4．社員対応

3章　建物構造の種類
1．建物構造の種類／2．木造／3．鉄骨（S）造／4．鉄筋コンクリート（RC）造
5．鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）造／6．自社製作物件

4章　建設工事の種類
1．建物ができるまで／2．建設工事の種類

5章　受注経路
1．受注経路／2．製作体制

6章　製作の流れ
1．製作フロー／2．材料発注・入荷／3．一次加工／4．組立／5．溶接／
6．検査(寸法・外観)／7．検査（超音波）／8．仕上げ・塗装／9．出荷・運搬
10．現場建方

7章　設計図
1．設計図書の種類（意匠図）／2．設計図書の種類（構造図）

8章　工作図
1．工作図の種類／2．一般図／3．基準図／4．詳細図

9章　鉄骨の部材・材料
1．部材の名称／2．鋼材／3．部材の名称（S造）／4．接合方法／5．溶接材料
6．高力ボルト

10章　一次加工
1．孔あけ／2．切断／3．開先加工／4．摩擦面処理

11章　溶接
1．溶接の原理／2．アーク溶接の種類／3．溶接部の名称／4．溶接継手の種類
5．T継手の開先形状／6．溶接作業時に着用するもの／7．溶接姿勢／8．溶接場所

12章　検査
1．入荷時検査／2．組立検査／3．溶接中検査／4．寸法精度検査／5．外観検査
6．超音波検査

13章　下塗り塗装

1. 下塗り塗装の作業フロー／2. 塗装時の安全保護具／3. 塗装前の素地調整（道具）
4. 塗装の種類（油性）／5. 塗装の種類（水性）／6. 塗装の種類（耐火）
7. 下塗り塗装検査

14章　めっき

1. めっき加工のフロー／2. 前処理工程／3. めっき工程／4. 仕上げ工程／
5. 製品出荷／6. めっき建造物／7. めっき鉄骨の工場製作

15章　安全

1. 事故例（工場）
   鉄骨製作工場における「ヒヤリハット事例集」／事故例（工場）
2. 事故例（工事現場）
   鉄骨工事現場における「ヒヤリハット事例集」／事故例（工事現場）

16章　資格の種類

1. 工場で必要な資格
   技術系／技能系／安全系／検査系／塗装系
2. 現場で必要な資格
   安全系／施工系

おわりに

その他の事項

構成員登録･取消社数累計表

登録･取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
平成31年3月31日現在 （平成30年度増減数）		34	27	2,208
		（ ）内数字は3月31日に繰入		
令和元年5月21日 第1回理事会	3月31日	(0)	(8)	2,208
令和元年6月7日 第2回理事会	5月31日	6	2	2,212
令和元年6月7日 第3回理事会	—	—	—	—
令和元年7月11日 第4回理事会	7月5日	5	5	2,212
令和元年9月19日 第5回理事会	9月10日	4	3	2,213
令和元年11月21日 第6回理事会	11月13日	4	2	2,215
令和2年1月17日 第7回理事会	1月10日	4	3	2,216
令和2年2月13日 第8回理事会	2月7日	1	2	2,215
累　　計		24	17	2,215

≪グレード別内訳≫

S：5　　H：258　　M：833　　R：600　　J：51　　未：468　　合計：2,215

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和2年2月7日現在

区分	登録・取消 承認	増	減							増減差	増減後 構成員数
		登録社数	取消社数								
			倒産	転・廃業	縮小	工場閉鎖	休業	その他	合計		
平成11年度合計		46	63	76	32	18	4	86	279	−233	3,726
平成12年度合計		22	48	52	31	11	5	83	230	−208	3,518
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	−257	3,261
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	−244	3,017
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	−168	2,849
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	−36	2,813
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	−43	2,770
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	−31	2,739
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	−28	2,711
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	−59	2,652
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	−114	2,538
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	−143	2,395
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	−135	2,260
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	−60	2,200
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	−29	2,171
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	−13	2,158
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208
令和元年度	第2回 (5月31日)	6	0	1	0	0	0	1	2	4	2,212
	第3回 (−)	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	第4回 (7月5日)	5	0	1	2	0	0	2	5	0	2,212
	第5回 (9月10日)	4	0	0	1	0	0	2	3	1	2,213
	第6回 (11月13日)	4	0	1	1	0	0	0	2	2	2,215
	第7回 (1月10日)	4	0	1	1	0	0	1	3	1	2,216
	第8回 (2月7日)	1	0	0	1	0	0	1	2	−1	2,215
	第9回 (月 日)										
	年度末処理										
	元年度計	24	0	4	6	0	0	7	17	7	2,215
累計		1,003	499	655	521	124	79	1,131	3,009	−2,006	2,215

1. 転・廃業内訳

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
転業 3社	転業 0社	転業 0社	転業 1社	転業 0社
廃業 2社	廃業 6社	廃業 9社	廃業 4社	廃業 4社

2. グレード別取消内訳

	S	H	M	R	J	未	合計
平成27年度	1	1	3	6	0	14	25
平成28年度	0	2	1	8	0	22	33
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
令和元年度	0	0	1	11	0	5	17

構成員登録社数･増減一覧表

（R2. 1. 11～R2. 2. 7）

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	73			0	73
東北	青森	37			0	37
	岩手	30			0	30
	宮城	41			0	41
	秋田	24			0	24
	山形	26			0	26
	福島	61			0	61
関東	茨城	61			0	61
	栃木	52			0	52
	群馬	65			0	65
	埼玉	53			0	53
	千葉	55			0	55
	東京	49			0	49
	神奈川	40			0	40
	新潟	91			0	91
	山梨	31			0	31
	長野	66			0	66
北陸	富山	39			0	39
	石川	32			0	32
	福井	40			0	40
中部	岐阜	72			0	72
	静岡	96			0	96
	愛知	140		1	−1	139
	三重	62			0	62

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	32			0	32
	京都	48			0	48
	大阪	118	1		1	119
	兵庫	75			0	75
	奈良	39			0	39
	和歌山	38			0	38
中国	鳥取	14			0	14
	島根	23			0	23
	岡山	35			0	35
	広島	75			0	75
	山口	42			0	42
四国	徳島	25			0	25
	香川	45			0	45
	愛媛	40			0	40
	高知	23			0	23
九州	福岡	53			0	53
	佐賀	24			0	24
	長崎	19			0	19
	熊本	23			0	23
	大分	20			0	20
	宮崎	24			0	24
	鹿児島	31		1	−1	30
	沖縄	14			0	14
合計		2,216	1	2	−1	2,215

構成員登録申請企業一覧表

令和2年2月7日現在
令和2年2月13日決定

（　　1社）

	都道府県名	受付年月日	構成員登録企業名	代表者名	〒	所在地	年間加工能力	従業員数	グレード	登録番号
1	大阪府	R2.2.3	有限会社新生スチール	田上　英男	574-0062	大阪府大東市氷野3-16-18	3,000 t	58 人	未	27-305
							t	人		
							t	人		
							t	人	

構成員登録取消企業一覧表

令和2年2月7日現在
令和2年2月13日決定

（　　2社）

	都道府県名	加入年月日	構成員登録No.	受付年月日	構成員登録取消企業名	代表者名	取消理由	グレード	取消承認年月日
1	愛知県	H9.1.17	23-259	R2.1.27	テクノエフアンドシー株式会社　名古屋工場	辻　良治	グレードを維持する必要がなくなった為	R	R2.2.13
2	鹿児島県	S55.6.10	46-014	R2.1.20	松永工業株式会社	松永　康之	鉄構部門閉鎖	未	〃

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

（国土交通省建築着工統計速報による）

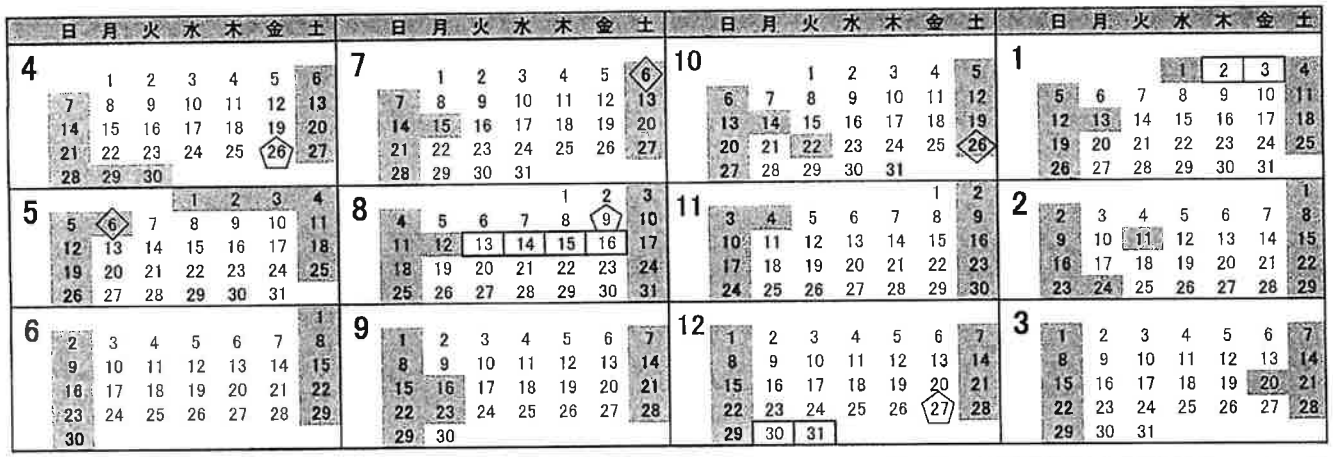
2020年2月4日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成11年度計		197,017	101.9	68,108	97.5	17,361	110.0	7,678,750	98.8
平成12年度計		194,481	98.7	70,808	104.0	15,305	88.2	7,846,050	102.2
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
2018年度（平成30年度）	4月	11,733	98.8	4,323	99.3	133	68.6	438,950	98.7
	5月	10,912	97.3	4,275	98.1	164	93.2	435,700	98.0
	6月	11,350	91.9	4,712	98.3	36	19.1	473,000	96.7
	7月	11,869	102.6	4,724	108.8	260	120.4	485,400	109.1
	8月	10,906	95.1	4,385	95.4	30	15.3	440,000	93.8
	9月	11,160	95.8	4,253	96.5	118	67.0	431,200	95.9
	10月	11,604	100.0	4,402	107.3	199	80.9	450,150	106.5
	11月	11,194	96.6	4,122	91.1	82	31.8	416,300	89.4
	12月	10,878	107.2	3,926	107.5	153	120.5	400,250	107.7
	1月	9,717	102.6	3,779	95.4	64	54.2	381,100	94.8
	2月	9,789	97.1	3,762	101.8	133	19.5	382,850	94.9
	3月	9,966	99.8	3,385	86.4	92	43.4	343,100	85.3
年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019年度（令和元年度）	4月	11,222	95.6	3,919	90.7	200	150.4	401,900	91.6
	5月	10,552	96.7	3,761	88.0	147	89.6	383,450	88.0
	6月	11,812	104.1	4,283	90.9	75	208.3	432,050	91.3
	7月	11,974	100.9	4,756	100.7	131	50.4	482,150	99.3
	8月	11,167	102.4	4,211	96.0	50	166.7	423,600	96.3
	9月	10,316	92.4	3,483	81.9	152	128.8	355,900	82.5
	10月	10,615	91.5	3,679	83.6	110	55.3	373,400	83.0
	11月	10,067	89.9	3,510	85.2	93	113.4	355,650	85.4
	12月	10,356	95.2	4,027	102.6	108	70.6	408,100	102.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
年度計		98,081	96.5	35,629	91.1	1,066	90.7	3,616,200	91.1

（単位）面積　1,000㎡
前年同期比　%

（注）鉄骨推定所要量
鉄骨造　㎡×100kg
鉄骨鉄筋造　㎡×　50kg

2019(令和元)年度 主要会議日程表



2019.12.5 現在

↓土日・祝日　↓夏期・年末年始休日　↓休日出勤　↓振替休日

開催年月日				時間	三役会	理事会	総会	全国理事長会 事務局長会議	委員会	その他	備考
2019 年 （令和元年）	4 月 5 日	金		12:00 ～ 18:00	12:00			15:00 ※		16:30 懇親会	※事務局長会議
	5 月 10 日	金		14:00 ～ 17:00	14:00						
	5 月 21 日	火		10:30 ～ 19:00	10:30	14:00 ※				17:30 懇親会	※総会招集決議
	5 月 22 日	水		9:30 ～ 12:00					9:30 特別		12:00-14:00全鉄評取締役会
	6 月 7 日	金		9:30 ～ 18:30	9:30	11:30	15:00			17:00 懇親会	14:00全鉄評株主総会
	7 月 3 日	水		12:00 ～ 17:00	12:00					14:00 青年部会幹部との懇談	
	7 月 11 日	木		10:30 ～ 19:00	10:30	14:00				17:30 懇親会	
	7 月 12 日	金		9:30 ～ 12:00					9:30 特別		
	8 月 28 日	水		14:00 ～ 17:00	14:00						
	8 月 29 日	木		11:30 ～ 14:00						11:30 技/審議会	
	9 月 10 日	火		14:00 ～ 17:00	14:00						
	9 月 19 日	木		10:00 ～ 19:00	10:00	12:00				15:00 賛助会員との意見交換会	16:30賛助会員との懇談会
	9 月 20 日	金		9:30 ～ 12:00					9:30 特別	13:30 各県青年部代表者との意見交換会	16:00各県青年部代表者との懇談会
	10 月 16 日	水		14:30 ～ 17:00	14:30						12:00-14:00全鉄評取締役会
	11 月 13 日	水		11:00 ～ 17:00	11:00				14:00 特別※		※教育人材育成委員会のみ
	11 月 21 日	木		13:00 ～ 19:30	13:00	15:00				18:00 懇親会	大阪開催
	11 月 22 日	金		9:30 ～ 12:00					9:30 特別※		大阪開催 ※企画委員会のみ
	12 月 12 日	木		12:00 ～ 14:00							12:00-14:00全鉄評取締役会
	12 月 13 日	金		14:00 ～ 19:30	14:00					18:00 事務局職員との懇親会	
2020 年 （令和2年）	1 月 17 日	金		9:30 ～ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※		16:30 賀詞交歓会	※全国理事長会
	2 月 4 日	火		12:00 ～ 17:00	12:00					15:30 技術研究開発助成案件選考会議	
	2 月 13 日	木		10:30 ～ 19:00	10:30	14:00				17:30 懇親会	*
	2 月 14 日	金		9:30 ～ 12:00					9:30 特別		
	3 月 10 日	火		14:30 ～ 17:00	14:30						12:00-14:00全鉄評取締役会
	3 月 18 日	水		10:30 ～ 19:00	10:30	14:00				17:30 懇親会	
	3 月 19 日	木		9:30 ～ 12:00					9:30 特別		

関連団体

【青年部会】
総会・全国大会 ： 平成31(2019)年4月20日（土） 名古屋

その他

2020(令和2)年度予定

2020年4月10日（金）	三役会（12:00）全国事務局長会議（15:00）懇親会（16:30）
2020年5月19日（火）	三役会（14:00）
2020年5月28日（木）	三役会（10:30）理事会（14:00）
2020年6月17日（水）	三役会（9:00）理事会（11:30）総会（15:00）懇親会（17:00）
	参考：全鉄評株主総会（14:00）

＊ ＝ 変更箇所

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和2年） 1月分

提出日 令和2年2月4日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部（鉄骨部会）活動・行事等
道央	14日（火） 三役会・役員会 21日（火） 例会・新年会	23日（木） 性能評価工場審査（1社）
函館	25日（土） 新年交礼会	
室苫小樽		
旭川	6日（月） 営業会議	
北見		
帯広	24日（金） 新年交礼会	
釧路	27日（月） 例会	

(B)

①手持工事量（ヶ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
支部	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造（H＋H）	S造（コラムH）	SRC造
道央	3 ～ 9	1 ～ 5	1 ～ 3	90 ～ 110		○		77～250	76～190	86～190
函館	1	2	2 ～ 3	30 ～ 100			○	110～180	120～200	－
室苫小樽	3 ～ 12	2 ～ 6	1 ～ 2	100 ～ 110		○		120～190	120～180	－
旭川	12	1 ～ 6		60			○	90～140	90～140	－
北見		3 ～ 6		80 ～ 100		○		170～180	160～170	－
帯広	6	1 ～ 6	1 ～ 2	50 ～ 120			○	75～155	90～165	－
釧路	7	1 ～ 4		70 ～ 110			○	110～180	140～230	－

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・Hグレードは山積みが高いが、Mグレードはさほどでもない。R・未認定は低い。現状の工場稼働率は高いが、落ち着いてきた。引き合いは、足元は少ないが少しずつ増えてきている。施工図の決定遅延などで、山積み調整に苦慮している。 ・共同積算：1月 13,201t 平年比130% 前年比168%
函館	・各会員、稼働率、山積み共に先月と変わらず低めで推移している。見積りも少ないが、来年度発注予定の計画はある。価格については大きく変わりなし。
室苫小樽	・見積り件数は、昨年度と同等で推移しているところが多い。山積みは夏場頃まで高く、一部工場では年内いっぱい高い。
旭川	・冬期により、稼働状況にバラつきがある。
北見	・各社共に通常稼働している。働き方改革への対応について、GCと温度差があり悩むところ。
帯広	・稼働率に関してはあまり変化はない。若干、新規見積りが出てきたが少ない状況。
釧路	・当地区の物件も安値受注が出てきた。釧路支部会員も、バブル以後の過ちを繰り返すことのないよう情報交換をしていきたいと思う。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2020 年（令和 2 年）1 月分

提出日　令和 2 年 2 月 6 日

（A）

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○1/21　性能評価 1 社	○1/8 東北地区鉄鋼業界新年賀詞交歓会（仙台）
岩手県	○1/8.14.17.21.24　技術品質サポート各 1 社 ○1/15.23.29.30.31　後期性能評価各 1 社 ○1/15　県南支部会 ○1/22　盛岡支部会	
宮城県	○1/23　役員会・営業担当者会議　→　延期	
秋田県	○1/8　青年部会安全祈願 ○1/17.20　品質サポート 2 社	
山形県	○1/22　三役会、役員及び山形支部会員合同会議 勉強会(働き方改関連法)営業実務者会議 ○1/24　技術・品質サポート(1 社) ○1/28　4 団体へ（建築士会、建築協会、建築士事務所協会、建設業協会）「全構協の統一目標設定」文書持参・申入れ	
福島県	○1/18　青年部&JSCA との意見交換会 ○1/24　いわき支部会 ○1/25　青年部役員会・新年会 ○1/31　第 5 回理事会・新年会	

（B）

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R･J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	4～13	3～6	1～6	30 ～ 120			○	65～80	60～115	
岩手県	1～11	1～6	1～2	70 ～ 110			○	55～100	55～100	
宮城県	3～9	2～6	2～3	80 ～ 100			○	70～100	70～100	
秋田県	6～6	2～5	1～4	50 ～ 120			○	65～80	60～80	
山形県	3～10	2～10	1～6	80 ～ 100		○		70～110	70～110	
福島県	8～9	2～12	0～6	50 ～ 120		○		65～160	55～170	

（C）

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	手持ち工事量・稼働率ともに大きな変化はないが、見積物件数（特に県内物件）は減少傾向が続き、昨年同月と比較すると 50%の減少。鋼材入手難は改善されつつあるが、春先以降の仕事量の確保が不透明。
岩手県	手持工事量・工場稼働率は引き続き低下傾向にある。春先の仕事が薄い工場が多い印象。地場物件の減少が目立ち、価格維持を呼び掛けている。
宮城県	昨秋から見積もり件数は減少傾向。大型案件は少なく中小規模の案件が多い。GC からの指値も厳しくなりつつある。
秋田県	手持ち工事量が少なく先行き不安。単価は上がる気配が無く依然として厳しい状況である。
山形県	県内物件数は前月同様で、手持ち工事量・稼働率とも大きな変化はみられない。価格は相変わらず厳しく先行き不安である。
福島県	直近の加工、見積物件が少なく、材料が動かない様子。夏以降の物件も散見されるが、確認申請の遅延や工期変更が予想され、受注をするべきか判断しにくい状況。この時期に無理な値引きに応じないように徹底したい。更に共同積算ネットワークを有効活用し、各社が情報交換しながら協力し合える環境を目指したい。

＜ 関東支部 ＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和2年） 1月分

提出日 令和2年2月6日

(A)

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等		関東支部活動・行事等
東京都	9日～31日工場審査及びサポート8回、15日理事会・新年賀詞交換会、 リポート東構協発行、24日全国R・J役員会（鬼怒川）		
千葉県	16日（木）官公庁新年挨拶。三役会 24日（金）中央会新春交流会		
神奈川県	22日 役員会・新春講演会・賀詞交歓会		
茨城県	10日 建設業協会 賀詞交歓会 17日 茨城板金工業組合 50周年祝賀会建築関連団体交流会 17日 茨城県建築士会賀詞交歓会 18日 アーク特別教育	21日 新年研修会・賀詞交歓会 23日 茨城県中小企業団体中央会賀詞交歓会 25日 JIS溶接合同検定試験（第30回・鋼肉溶接開始） その他 認定サポート・工場審査3社、 実習生巡回指導7社	
埼玉県	7日（火） 総務委員会及び新年挨拶回り 14日（火） 労務委員会 15日（水） 理事会 20日（月） 会計監査	24日～25日（金・土）県東支部会及び新年会 30日（木） 県北支部会及び新年会、 並びにゴルフコンペ 30日（木） 県南支部会及び新年会	
栃木県	1/8 新年挨拶廻り（役員）、1/16 賛助会役員会、1/22 工業会賀詞交歓会、 1/24 全国RJグレード部会連絡会役員との交流会、1/28 青年部役員会		
群馬県	1/14～サポート実施（2社）、1/23青年部全員協議会、1/28 役員会・新年会		
長野県	16日(木)平成31年度後期申請工場サポート1件 18日,19日（日）UT実技講習会	28日(火)顧問県議と行政との懇談会 新年会 31日(金)工場審査前サポート 1件	
山梨県	7日 溶接界新春賀詞交歓会 10日 山梨県中小企業団体中央会新春交流会 21日 東部地区溶接協会連絡会事務局会議 22日 新年会 22日 「働き方改革」講習会 24日 溶接安全委員会	27日 経営近代化委員会 28日 教育技術委員会 31日 溶接JIS検定学科認証取得講習（半自動） ・アーク溶接特別教育 一般、笛吹、農林、都留興譲館高校 ・工場審査サポート 29日：R1、30日：R1、31日：M1	
新潟県	1/16 第3回正副理事長会、第2回経近委員会 1/24 第5回出張理事会（三条市）、1/30 第5回技術委員会 1/28 工場審査サポート(1工場)		

(B)

①手持工事量（ヶ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造（H＋H）	S造（コラムH）	SRC造
東京都	7～10	2～6	2～3	90～100		○		95～115	100～130	—
千葉県	3.0	2～5	–	50～100		○		100～150	100～160	170
神奈川県	5～11	1～8	3	80～110		○		70～180	65～140	130～175
茨城県	1～2	4～6	10	80～100		○		70～95	75～95	—
埼玉県	3～12	3～7	1～5	70～100		○		80～190	70～190	—
栃木県	8～12	3～7	2～4	80～100		○		90～130	90～130	—
群馬県	5～9	2～6	1～4	60～100		○		75～130	60～130	—
長野県	5～11	2～6	3	80～100			○	70～125	70～120	—
山梨県	7～15	1～15	2～3	80～110			○	70～160	70～160	95～120
新潟県	2～5	3～5	8～12	85～95			○	85～100	80～105	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	地球温暖化問題は当業界も他人ごとではない。炭酸ガスを多量に消費する生業として、業界として対策を検討すべき時が来ているように思う。
千葉県	HTBの入荷が早くなったがメッキボルトはまだ納期がかかる。技能士不足の各社の対応をお願いしたい。人材難。
神奈川県	①各社の山積みには格差があり、融通し合う会社が増えている様子。関東では8月までは薄い状態を唱えるメーカー、商社が大半であり、各社の山積みをを見ると実感する。付き合いがない他県の同業者より暇なので手伝いたいとTELがあったほど。 ②鋼材、HTBの納期はほぼ正常に戻った。
茨城県	1月は休み明けなので、毎年動きが鈍いが2月以降は中小物件が動き出す。ただ図面の決まりが遅くて、工場が手薄になってしまいがち。5月ぐらいから200t～500t前後の物件が動き出す予定。9月以降は商社物件が動き出すらしいので、地場にこだわらなければ、仕事はあると思う。
埼玉県	僭越ながら当組合のPR動画である"鉄女 in SAITAMA"が好評だ。先だっての新年挨拶でお褒めの言葉を頂いたり、その際、2人程1月下旬アップロード予定のvol.5を予告したのみであるが既に数十人が閲覧をしている。また、それにつられてvol.1などその他の閲覧数も増え、ホームページには日本のみならず海外からもアクセスされている。インターネットの威力とともに、その有効活用と持続が重要と思い知らされた。
栃木県	・仕事量にバラツキが出てきている（直近の仕事が薄いところも目立つ） ・地場の物件が少ない
群馬県	春くらいまでは仕事が薄いのではないかと心配です。年間を通して平たくなれば働き方改革の残業時間もクリア出来そうですが、秋頃からはクリアするのが難しそうです。
長野県	・夏までは、忙しく来年の仕事の話もあるが、今年の秋の話が少ない。 ・役所物件数がかなり落ちている。民間物件の価格も落ちてきている。
山梨県	高力ボルトは全体的には落ち着いた様子だが、M22とメッキ品についてはまだ一部で入手難がある。 新入社員教育の募集を開始した。(4/13日～6/26日にかけ19科目160時間の計画。労働局の若年人材育成訓練助成金を利用する)
新潟県	稼働率は若干下降傾向にあり、見積物件数も減少している。会員間での情報交換が重要となっている。 価格も材料価格が若干下がった影響もあり、下落傾向がみられる。

＜北陸支部＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和2年） 1月分

提出日 令和 2年 2 月 5 日

(A)

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	15日(水) 工場審査(Hグレード1社) 16日(木) 働き方改革関連法の周知講習会 22日(水) 第4回正副理事長会・新春懇談会 24日(金) 青年部会・第4回役員会 29日(水) 工場審査(Hグレード1社・R グレード1社) 30日(木) 工場審査(R グレード1社)	17日(金) 全構協・第7回理事会・全国理事長会 新年賀詞交換会(東京) 28日(火) 全構協・運営委員会(東京)
石川県	7日(火) 技術サポート制度実施 14日(火) 建築関連団体合同新年会(金沢) 18日(土) JSCA記念講演会、新年会(金沢) 23日(木) 第7回三役会、第7回理事会、新春講演会、 新年賀詞交歓会(金沢) 28日(火) 技術サポート制度実施 30日(木) 技術サポート制度実施 31日(金) 技術サポート制度実施	
福井県	14日(火) 臨時三役会、技術委員会 23日(木) 労働局関係団体連絡会議 24日(金) 三役会、役員会、臨時総会、新年会 28日(火) 認定審査工場技術サポート（～31日）	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H＋H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	5 ～ 12	3 ～ 6	2 ～ 4	70 ～ 100		H	M・R	80 ～ 130	70 ～ 120	～
石川県	3 ～ 12	2 ～ 3	1 ～ 2	70 ～ 100		○		90 ～ 130	75 ～ 120	～
福井県	5 ～ 11	4 ～ 7	1 ～ 3	80 ～ 110		○		110 ～ 150	—	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	基本的には昨年秋口からの状況とあまり変化は無い。首都圏物件は端境期であるが、今年度後半以降大型物件が目白押しという事もあり、大手ファブは工場稼働率が多少下がっているが焦りは見られない。中小ファブは時節柄物件は少ない時期であり、大手の下請をするなどして工場の稼働率を保っている。一部では地場物件の不透明感からか、安値受注も見受けられる。
石川県	Hグレードでは来年秋までの物件を確保している企業もある。Mグレードでは4～5月まで、Rグレードは3月までの物件を確保している企業もあるが、企業間で差がある。稼働率にも大きな波があり、工場に空きが出ることも多々ある。見積物件は減少傾向で先行き不透明だが、オリンピック以降、仕事が出てくる模様。受注価格を下げないように十分な注意と努力が必要。
福井県	・全体的に受注量が若干低下傾向にあって、稼働率低下の工場が散見されるようになった。特にRグレード以下での受注量減少は著しく、今夏まで厳しい状況が続くものと予見される。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和2年） 1月分

提出日 2020年（令和2年）2月5日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
岐阜県	24 日（金） 先進施設（JFEエンジニアリング㈱ 津製作所） 28 日（火） 理事会・新年会	17 日（金） 全構協：理事会 出席
静岡県	22 日（水） 三役会 県建築関係職員との意見交換会	
愛知県	10 日（金） 建築八団体新年互礼会 出席 14 日（火） 理事会 21 日（火） H部会 25 日（土） 青年部：新年会 28 日（火） 女性部会 30 日（木） 名古屋南支部会 性能評価工場審査 4件	
三重県	15 日（水） 県溶接協会理事会 17 日（金） 令和2年安全祈願祭・第9回理事会 後期性能評価サポート 3回	

(B)

①手持工事量（ヶ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造（H＋H）	S造（コラムH）	SRC造
岐阜県	3～8	3～8	2～7	80 ～ 120		○		70～80	60～120	
静岡県	10～12	2～10	2～5	80 ～ 110			○	80～150	65～125	
愛知県	8～ 20	3～9	2～3	70 ～ 120			○	75～120	70～110	90～130
三重県	10～15	1～6	1～6	80 ～ 150		○		70～200	65～180	90～160

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・2月から工事量は少なく、空きがあるファブも出てきているようです。
静岡県	・纏まったロットの高力ボルトの入手状況についても、納期の問題は収束している模様。関東地区工事量は、Sグレードの大型再開発の遅れもあり、全体的に物件が薄い模様。秋口から年末の製作工期の物件は、大型物件を中心に引き合いがやや回復し始めてはいるが、全体的に一般の鉄骨建築は、2020年度は2019年度よりもやや低調になるのではないか。 ・山積み状況は全体的にあまりよくない状況で、上半期は仕事が薄いところが多そう。下半期に期待するしかない。 ・高力ボルトの納期は不安はあるものの改善されてきていると思われる。
愛知県	・来年度に入り夏季には超多忙状況になると捉えている組合員が多い。 ・繁忙期を迎えることは嬉しい事だが、人手不足や資材調達難が襲ってくると思うと頭が痛い。 ・高力ボルトのひっ迫感は無くなったが、再燃するかもと心配になる。 ・先行きの景況予測と資材・副資材の入手に際しての難易度情報が欲しい。 ・建設は死闘、破壊は一瞬である。自らの企業を防衛するためにも情報洪水に溺れ無いよう情報の精査能力を高めていきたい。
三重県	全体の傾向としては、仕事量は減少気味か？

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和2年） 1月分

提出日 令和2年 2月 4日

（A）

①全構協推進事業の現状	
都道府県	各県組合活動・行事等
滋賀県	20日 工場審査 1社　23日 認定工場部会（新年会）
京都府	8日 建産連賀詞交歓会　14日 4支部合同支部会 20・21日 工場サポート 2社　23日 溶接競技会運営委員会 22・25・27・29日 工場審査 5社　22日 京都R会役員会 24日 R会全国役員会　25日 青年部新年会
大阪府	9日 運営共済事業委員会 10日 定例理事会 15日 市内支部会 17日 技術委員会 14～16・19～21日 UTレベル1学科講習会 14・16・20・23・28・31日 工場パトロール6社 21・24・29・30日 工場審査4社 24日 東支部会 30日 北支部会
兵庫県	・1/22 三役会 ・1/24 教育技術委員会 ・1/28 工場審査 1社・1/23、1/27、1/31 サポート 4社
奈良県	24日 青年部定例会　27日 三役会
和歌山県	7日 新春賀礼会(商工会連合) 22日 工場サポート 1社

②支部活動状況
近畿支部活動・行事等
17日 全構協第7回理事会 17日 全国第2回理事長会 16日～20日 第3回超音波探傷レベル1基礎講座

（B）

①受注物件件数（カ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造（H＋H）	S造（コラムH）	SRC造
滋賀県	8 ～ 12	2 ～ 6	2 ～ 3	70 ～ 100		○		70 ～ 130	65 ～ 85	～
京都府	1 ～ 12	6 ～ 8	2 ～ 3	80 ～ 100		○		80 ～ 120	80 ～ 120	～
大阪府	6 ～ 10	2 ～ 6	0.5 ～ 3	50 ～ 100			○	80 ～ 140	70 ～ 120	90 ～ 120
兵庫県	8 ～ 10	2 ～ 5	2 ～ 3	70 ～ 90			○	80 ～ 100	70 ～ 80	～
奈良県	～	6 ～ 10	2 ～ 3	70 ～ 110		○		80 ～ 120	60 ～ 100	～
和歌山県	8 ～ 12	8 ～ 10	4 ～ 8	80 ～ 100			○	80 ～ 120	70 ～ 100	90 ～ 120

（C）

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	工場山積みは足元はゆったり感が否めない。先々の声がかかりは有り、各社で価格維持に努めていきたい。様々なリスク要因で経済も不安だが過去に学び安易な安価受注は避けたいところ。
京都府	高力ボルトは混乱前の状況にもどりつつ有る。仕事量が減少して来たのか少々不安材料。見積、引合共に今までとは違い活気が無い。今後の動きに注視したい。4月以降は不透明。案件が予算の都合で縮小、中止の判断されている模様。昨年10月頃の見積もりが決まっており上半期はありますが下半期が心配です。
大阪府	令和最初の正月から、全体的にスロースタート感がある。Hとしては、昨年の予想通り仕事量は落ち着いている。Mとしては、見積物件数は横ばい、鋼材の流通量も横ばいである。Rとしては、春先まで見積件数が少ない傾向が続いている。中国武漢市の新型肺炎の影響は大きく、中国面接が見送りになるなど、あらゆる行動が制限される。仕事量減、価格の低下が懸念される。
兵庫県	先月同様、見積もりも少な目で鋼材価格が下がったにも関わらず鋼材の動きも芳しくない模様。公共工事の見積りはそこそこあるが、民間物件が少ないように思われる。春先からの仕事は有るとのことだが、先行き少々不安。
奈良県	・年が明けて、見積もり案件が少なくなって来たように思います。 ・受注格差がより大きく出そうである事と共に、秋口以降、物件が動き出しそうである。 ・オリンピック前、春頃までは仕事が決まっている。また、人材不足ゆえ育成が大切だと思う。
和歌山県	昨春より 2020年4月まで ボルトの段取りができない事を情報入手していたので、1～4月は、山積確保が折込み済のようで、極端な空きは見受けられない。既に夏頃の図面にかかっているので、この秋からの需要に期待し、供給の平準化に努めたい。

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和2年） 1月分

提出日 令和2年 2月5日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中国支部活動・行事等
鳥取県	9 日（木） 中央会賀詞交歓会、東部支部例会 16 日（木） 第2回人材確保PR支援検討委員会	17 日（金） 全構協 理事会（東京） 同 全国理事長会・賀詞交歓会（東京） 28 日（火） 全構協 運営委員会(東京)
島根県		
岡山県		
広島県	18 日（土） 青年部幹事会 21 日（火） 理事会・三役会、設計見積セミナー、新年互礼会 22 日（水） JSCA中国支部 新春技術発表会・賀詞交歓会 25 日（土） D－arc溶接機 説明・実演会 29 日（水） 工場審査サポート 1件	
山口県	25 日（土） 青年部会・新年会	

(B)

①手持工事量（か月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造（H＋H）	S造（コラムH）	SRC造
鳥取県	4 ～ 9	2 ～ 5	2 ～ 4	90 ～ 100		○		90～120	80～120	90～125
島根県	10 ～ 11	2 ～ 6	1 ～ 2	50 ～ 100			○	80～130	80～130	－
岡山県	6 ～ 19	1 ～ 12	2 ～ 4	80 ～ 100			○	75～95	70～95	100～120
広島県	11	3 ～ 12	1 ～ 7	80 ～ 120			○	60～110	60～110	－
山口県	4 ～ 9	6 ～ 9	2 ～ 4	75 ～ 105			○	80～115	80～100	140～150

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	Hグレードでは今年の仕事量は1月～4月までは100%稼働しているが、5月～7月が薄く、8月からの物件は決まっている状態。 M・Rグレードでは2～4か月は決まっているが全般的に見通しは良くない状況。 鋼材価格は少し安くなっているが加工費は高くなっている。 働き方改革で、時間内に生産量アップ出来るように対策を講じなければならない。 中央会の人材確保PR支援事業を推進中。業界と各社のPRDVD作成に取り組み、3月末までに、完成予定。
島根県	会員各社により手持ち工事量にバラツキが見受けられ、全般的に多少減少傾向にあると思われる。 稼働状況も、図面決定の遅れなどからスポット的に空き状況の発生が窺える。 また、工事量減少等による価格の下落が懸念されるため、価格維持に向けてより一層業界全体の連携強化に努めたい。
岡山県	年度末に向けて各社繁忙な様子。特に首都圏を商圏とするHグレードは相変わらず1年以上のバックオーダーを有し好調さを持続している。 しかしながら地方を相手とするMグレード以下については春以降の仕事量が厳しい状態となりつつある。 実際、製缶市場はここ数か月大幅に単価が下落しており、鉄骨ファブの製缶市場への流入が顕著に表れている。 この状況は、来年度早々に鉄骨価格の下落を予見させるとともに、再び冬の時代の到来を感じさせるものである。
広島県	全回答のうち、稼働率100%以上の企業が5割、90%の企業が4割と、依然として、稼働率は高水準で推移している。 手持ち工事量は、Rグレードを中心に、3か月以下の企業数が約5割を占めるなど、全体的な減少傾向が顕著。 Hグレードを除き、各社とも、自社物件に加え、他社の応援工事も織り交ぜて、何とか工場稼働率の維持に努めている状況。 そうした中、 見積りの長期減少傾向とともに、「GCの差し値が低く、引き合い物件の受注が飛ぶケースが増加」、「500t超クラスの大型物件が減り、物件が小型化」、などと懸念を訴えるファブもおり、先行きの不透明感がここにきて少し増加している模様。 まさに今が踏ん張りどころなので、地元GCの競争激化等に煽られず、繁忙期到来を見据え、鉄骨価格の維持に足並みを揃えろえ頑張ろう。
山口県	受注物件数、見積件数ともに減少傾向。 あるファブは「来年4月以降の確定した山積みは無く、9月頃まで稼働率70%が続きそう」と話すなど引き合いが多くない状況が続いている。 工事価格の大きな変動はないが、鋼材価格の値下がりにより、加工費も若干下がってきている様子。 高力ボルト不足の状態は落ち着いてきたが、鳶職の確保が難しく、建方の日を調整して対応するファブもいる。 夏以降秋口にかけて新規工事が出る予想のため、今のうちに図面、人員、運送等の実行可能体制の確認や生産量、検査、製品置き場等の実態対応能力の再確認など対策に努めたい。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和元年） 1月分

提出日 令和2年 2月 5日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	8日（水） 大日本塗料・ダイニッカとの塗料会議 9日（木） 第9回情報交換会 11日（土） 青年部新年会 6日・8日・9日15日・16日20日 UT一2学科講習会	
香川県	8日（金） 組合新年会 22日（水） 工場審査サポート 24日（金） 中讃支部会 27日（月） 新規組合員加入推進　　29日（水） 工場審査 30日（木） 工場審査、建築鉄骨検査技術者実技試験の香川県開催検討会 31日（金） 香川県開催の建築鉄骨検査技術者実技試験助成	
愛媛県	9日（木） 東予地区会 31日（金） 理事会・新年会	
高知県	20日（月） 性能評価サポート 23日（木） 高等技術学校講習会検討	

(B)

①受注物件件数（ヵ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造（H＋H）	S造（コラムH）	SRC造
徳島県	3 ～ 7	1 ～ 4	1 ～ 3	80 ～ 100			○	65 ～	65 ～	～
香川県	～	1 ～ 5	1 ～ 3	60 ～ 100			○	55 ～ 100	60 ～ 110	～
愛媛県	3 ～ 8	3 ～ 4	1 ～ 9	90 ～ 100		○		50 ～ 100	50 ～ 100	～
高知県	6 ～	3 ～ 9	1 ～ 3	80 ～ 100			○	50 ～ 100	50 ～ 100	～

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	ここ数ヶ月見積り物件が少ない状況が続いている。特に県内物件が少ない。Hグレードは、8～9月まで受注している工場もあるが、R・Jグレードは、春先までの受注が殆どである。仕事量の減少と、単価の下落が同時進行する恐れがある。
香川県	ここ数か月、見積り件数は少なく稼働率も低めで推移している。準備段階の工事、また契約についてもやや遅れ気味であるが、年度替りの4月以降はAB格差もあるが上向き傾向が予想されF不透明感もあるものの期待できると思われる。今は、単価維持に努めなければいけない。
愛媛県	受注状況は向こう3か月から秋口まで、工場規模に関係なく各社各様。単価は地場ゼネコンの場合はまだ単価を維持できているが、四国内物件では大手・中堅ゼネコン間の競合が多くなり、それらのゼネコンが仕事を取りたい時は単価下げ気味で交渉してくる。
高知県	相変わらず見積件数は少ないが仕事量は有る程度確保出来ており手持ち工事はあるが先行きは不安。

＜ 九州支部 ＞ 状 況 報 告 書

2020年（令和2年）1月分

提出日 令和2年2月5日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・10日 福岡県・福岡市・北九州市及び顧問（議員）新年挨拶回り ・16日 経営対策委員会	・8日～12日 UTーレベル1基礎講座講習会 ・22日 九州支部H部会役員会・安全パトロール
佐賀県	1/7 第5回 理事会・安全祈願・官庁他挨拶回り 1/9・10・15 工場審査サポート 1/21 県建設業、建産連 新春の集い出席 1/23・30 工場審査	
長崎県	1/14 新年挨拶回り、1/22 鉄骨建築研究会 第4回専門委員会/意見交換会、 1/29 第6回理事会・1月例会・JSCAとの懇談会(東京製鉄㈱講演）及び懇親会	
熊本県	1/10 理事会・定例会・新年会　　1/14 自民党県連会議 1/15 熊本県建築士事務所協会訪問 1/9・16・28・29・31 認定勉強会	
大分県	1/24工場審査事前打合せ 1/29工場審査 1/31第3回青年部会	
宮崎県	14日：第4回理事会開催 16日：溶接競技大会表彰式出席 19日：青年部会ゴルフ・新年会開催 22日：中央会新春懇談会出席 24日：鹿児島県50周年式典出席 30日 全員協議会・賛助会員との意見交換・新年会開催	
鹿児島県	1/10理事会・50周年リハーサル・青年部会役員会 1/24創立50周年記念式典・記念講演・祝賀会	
沖縄県	・1/10日：定例理事会及び首里城復元に伴う支援金新聞社に託す。14日：営業部会、 16日:中央会創立50周年記念式典、25日～29日間：UT基礎講座沖縄県開催	

(B)

①手持工事量（カ月）				②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造（H＋H）	S造（コラムH）	SRC造
福岡県	6 ～ 12	3 ～ 7	1 ～ 3	90～110			○	90～130	90～130	ー
佐賀県	5	3 ～ 10	1 ～ 4	70～100			○	80～100	80～120	ー
長崎県	10 ～ 12	3 ～ 10	ー	100			○	80～130	70～120	ー
熊本県	4 ～ 8	3 ～ 7	2 ～ 3	100.7			○	70～100	70～125	ー
大分県	6 ～ 12	2	ー	90～110			○	105～120	80～120	ー
宮崎県	6 ～ 12	3 ～ 6	1 ～ 2	70～120			○	186～300	190～290	ー
鹿児島県	6 ～ 14	1 ～ 6	2	80～100			○	90～150	60～150	ー
沖縄県	2 ～ 3	2	1 ～ 2	90～100			○	120～130	130～140	ー

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	手持工事量は堅調に推移しているが、見積物件の届け出が特に少ない。 図面の変更や決定の遅れが原因で工事に支障が起きている。
佐賀県	・工程の遅れやズレが多く、稼働率に影響が出ている。 ・見積りの少ない状況が続いている。
長崎県	駅や市役所、MICEなどの大型物件が目立ってはいるが、物件数も多すぎるということは無く工場の稼働率は程よい状態である。 令和2年の見通しとしては楽観的にとらえている企業が多く、これから物件数は多くなってくるのではないか。
熊本県	県内の見積り工事が減っている。
大分県	◎小口物件の見積りが少なくなっている。今は少し操業度は停滞しているが各社との焦りはなく単価も落ち着いている。3月以降操業度も高くなる。◎今年いっぱいは受注工事があるが来年以降の見通しが立たない。◎図面承認の遅れや建て方が迫ってからの変更、建て方日の遅延などにより出荷予定が立たない物件が多い。自社で対策しているがなかなかうまくいないので、組合全体で何か対策がきないものか。
宮崎県	昨年と比較すると山積みが低くなっている。特にRグレードは見積件数も減少傾向にありこの状況は春先まで続くと思われる。価格は現状をキープ。
鹿児島県	ボルト問題も徐々に改善の見通しか？春先以降の見積りが少なく、夏枯れの気配。人材不足が続いている。
沖縄県	・発注遅れで物件引合いが減っている。また小規模物件が鉄骨から木造に変更。RC付帯鉄骨などの引き合いは多い。

2020.2.13

2020年度 鉄骨技術研究開発助成制度(会員応募型) 選考結果

	会 社 名	所 属	テ ー マ
1	東京鉄構工業協同組合	東京鉄構工業協同組合	溶接部の自主検査におけるフェーズドアレー超音波探傷法による溶接部の検査の活用法ついて(建築鉄骨のT継手とコラム角部の溶接接合部の比較検証を行う)

業績調査　抜粋版

運営委員会

グレード別決算状況（未認定含む）

2020　S/H192　M510　R290　J20　未 98　合計　1,110/2,249
2019　S/H191　M521　R299　J16　未130　合計　1,157/2,246

□売上総利益（粗利益）

グレード	黒字			収支均衡			赤字		
	2019調査	2020調査		2019調査	2020調査		2019調査	2020調査	
S/H	95%	（▲2%）	93%	3%	（＋2%）	5%	2%	（±0%）	2%
M	87%	（±0%）	87%	12%	（▲1%）	11%	2%	（±0%）	2%
R	72%	（＋4%）	76%	24%	（▲7%）	17%	4%	（＋3%）	7%
J	56%	（＋24%）	80%	31%	（▲26%）	5%	13%	（＋2%）	15%
未認定	70%	（▲2%）	68%	21%	（＋2%）	23%	9%	（±0%）	9%
総平均	82%	（＋2%）	84%	15%	（▲3%）	12%	3%	（＋1%）	4%

□営業利益

グレード	黒字			収支均衡			赤字		
	2019調査	2020調査		2019調査	2020調査		2019調査	2020調査	
S/H	92%	（▲1%）	91%	5%	（＋1%）	6%	3%	（±0%）	3%
M	84%	（▲2%）	82%	14%	（±0%）	14%	3%	（＋1%）	4%
R	68%	（＋1%）	69%	25%	（▲3%）	22%	8%	（＋1%）	9%
J	50%	（＋25%）	75%	36%	（▲31%）	5%	14%	（＋6%）	20%
未認定	67%	（±0%）	67%	21%	（＋5%）	26%	12%	（▲5%）	7%
総平均	79%	（±0%）	79%	16%	（▲1%）	15%	5%	（＋1%）	6%

※（　）内は、H2019年調査との比較

地区別売上総利益（粗利益）状況（未認定含む）

	黒字			収支均衡			赤字		
	2019調査	2020調査		2019調査	2020調査		2019調査	2020調査	
北海道	97%	（±0%）	97%	0%	（±0%）	0%	3%	（±0%）	3%
東北	84%	（±0%）	84%	15%	（▲1%）	14%	1%	（＋1%）	2%
関東	79%	（＋3%）	82%	16%	（▲3%）	13%	5%	（±0%）	5%
北陸	83%	（＋8%）	91%	13%	（▲6%）	7%	4%	（▲2%）	2%
中部	82%	（＋1%）	83%	15%	（▲2%）	13%	3%	（＋1%）	4%
近畿	79%	（＋7%）	86%	18%	（▲7%）	11%	3%	（±0%）	3%
中国	82%	（▲2%）	80%	14%	（＋1%）	15%	4%	（＋1%）	5%
四国	84%	（＋1%）	85%	13%	（±0%）	13%	3%	（▲1%）	2%
九州	86%	（▲4%）	82%	12%	（＋2%）	14%	2%	（＋2%）	4%
全国平均	82%	（＋2%）	84%	15%	（▲3%）	12%	3%	（＋1%）	4%

※（　）内は、2019年調査との比較

地区別営業利益状況（未認定含む）

	黒字			収支均衡			赤字		
	2019調査	2020調査		2019調査	2020調査		2019調査	2020調査	
北海道	91%	(+3%)	94%	9%	(▲6%)	3%	0%	(+3%)	3%
東北	79%	(▲3%)	76%	15%	(+1%)	16%	6%	(+2%)	8%
関東	76%	(+1%)	77%	19%	(▲3%)	16%	5%	(+2%)	7%
北陸	76%	(+13%)	89%	16%	(▲8%)	8%	8%	(▲5%)	3%
中部	80%	(▲2%)	78%	15%	(+2%)	17%	5%	(±0%)	5%
近畿	78%	(+4%)	82%	18%	(▲2%)	16%	4%	(▲2%)	2%
中国	80%	(▲7%)	73%	14%	(+1%)	15%	6%	(+6%)	12%
四国	82%	(▲7%)	75%	13%	(+7%)	20%	5%	(±0%)	5%
九州	83%	(▲4%)	79%	15%	(+1%)	16%	2%	(+3%)	5%
全国平均	79%	(±0%)	79%	16%	(▲1%)	15%	5%	(+1%)	6%

※(　)内は、2019年調査との比較

2020年2月12日

業績調査(従業員人数)その2

		グレード					
		S/H	M	R	J	未	合計
企業数(回答)	<"0"回答補正>	**193**	**510**	**268**	**20**	**96**	**1,107**
従業員数	全体(人)	10,524	9,593	2,937	298	1,289	24,641
	平均(人/社)	54.5	18.8	11.0	14.9	13.4	22.3
	男性(人)	9,184	8,184	2,477	248	1,122	21,215
	平均(人/社)	47.6	16.0	9.2	12.4	11.7	19.2
	女性(人)	1,340	1,409	460	50	167	3,426
	平均(人/社)	6.9	2.8	1.7	2.5	1.7	3.1
	女性比率(%)	**12.7%**	**14.7%**	**15.7%**	**16.8%**	**13.0%**	**13.9%**
女性職種別	一般事務	668	850	341	35	116	2,010
	<構成比(%)>	49.9%	60.3%	74.1%	70.0%	69.5%	**58.7%**
	営業関係	31	20	11	0	7	69
	<構成比(%)>	2.3%	1.4%	2.4%	0.0%	4.2%	**2.0%**
	設計・図面・積算	397	333	50	11	13	804
	<構成比(%)>	29.6%	23.6%	10.9%	22.0%	7.8%	**23.5%**
	製造管理・検査	128	65	15	0	9	217
	<構成比(%)>	9.6%	4.6%	3.3%	0.0%	5.4%	**6.3%**
	工事・現場作業者	43	90	27	4	7	171
	<構成比(%)>	3.2%	6.4%	5.9%	8.0%	4.2%	**5.0%**
	その他職種	73	51	16	0	15	155
	<構成比(%)>	5.4%	3.6%	3.5%	0.0%	9.0%	4.5%
	合　計	1,340	1,409	460	50	167	3,426
	<構成比(%)>	100%	100%	100%	100%	100%	100%

設問0	職場における「女性活躍」の状況についてお尋ねします。女性正社員の内訳を(　)内に記入して下さい(鉄骨事業対象)。

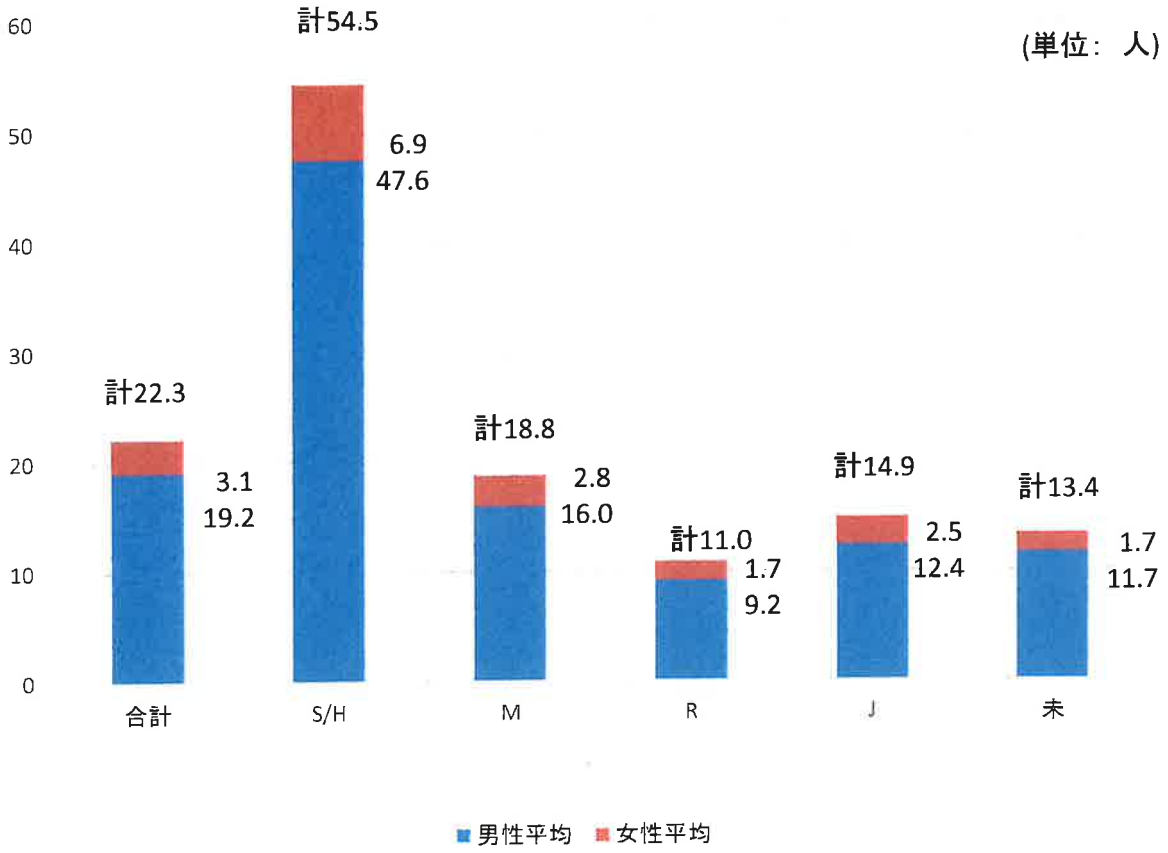
＜調査結果のポイント＞

・

グレード別男女平均従業員数

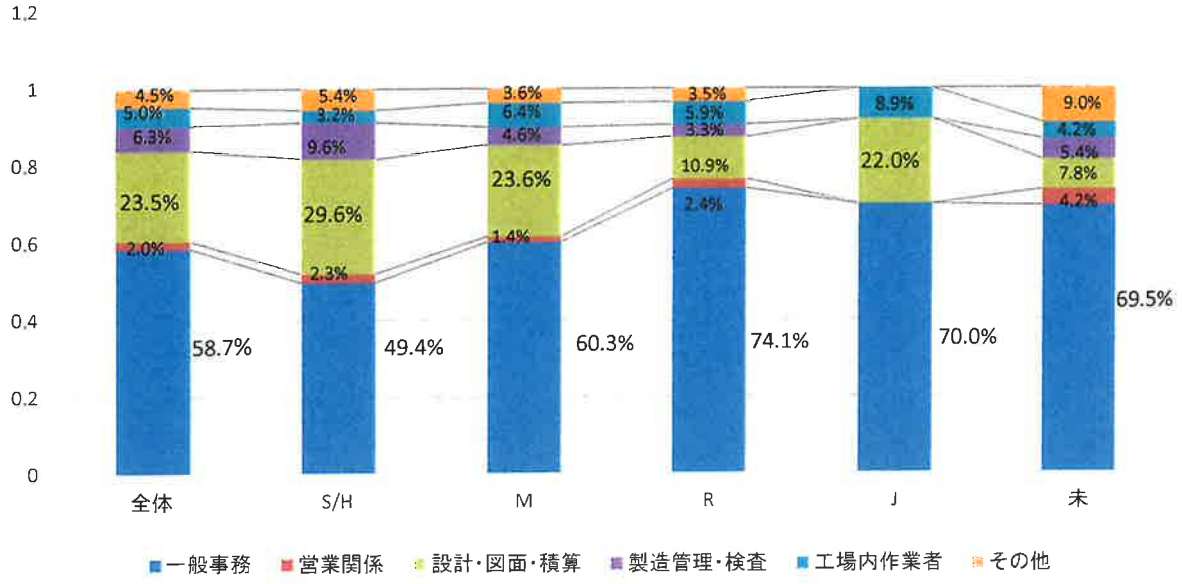
有効回答数:1,107社

(単位:　人)



	合計	S/H	M	R	J	未
女性平均(人)	3.1	6.9	2.8	1.7	2.5	1.7
男性平均(人)	19.2	47.6	16.0	9.2	12.4	11.7
全体平均(人)	22.3	54.5	18.8	11.0	14.9	13.4
企業数(社)	1107	193	510	268	20	96

グレード別女性の職種割合



	全体	S/H	M	R	J	未
一般事務	58.7%	49.9%	60.3%	74.1%	70.0%	69.5%
営業関係	2.0%	2.3%	1.4%	2.4%	0.0%	4.2%
設計・図面・積算	23.5%	29.6%	23.6%	10.9%	22.0%	7.8%
製造管理・検査	6.3%	9.6%	4.6%	3.3%	0.0%	5.4%
工場内作業者	5.0%	3.2%	6.4%	5.9%	8.0%	4.2%
その他	4.5%	5.4%	3.6%	3.5%	0.0%	9.0%

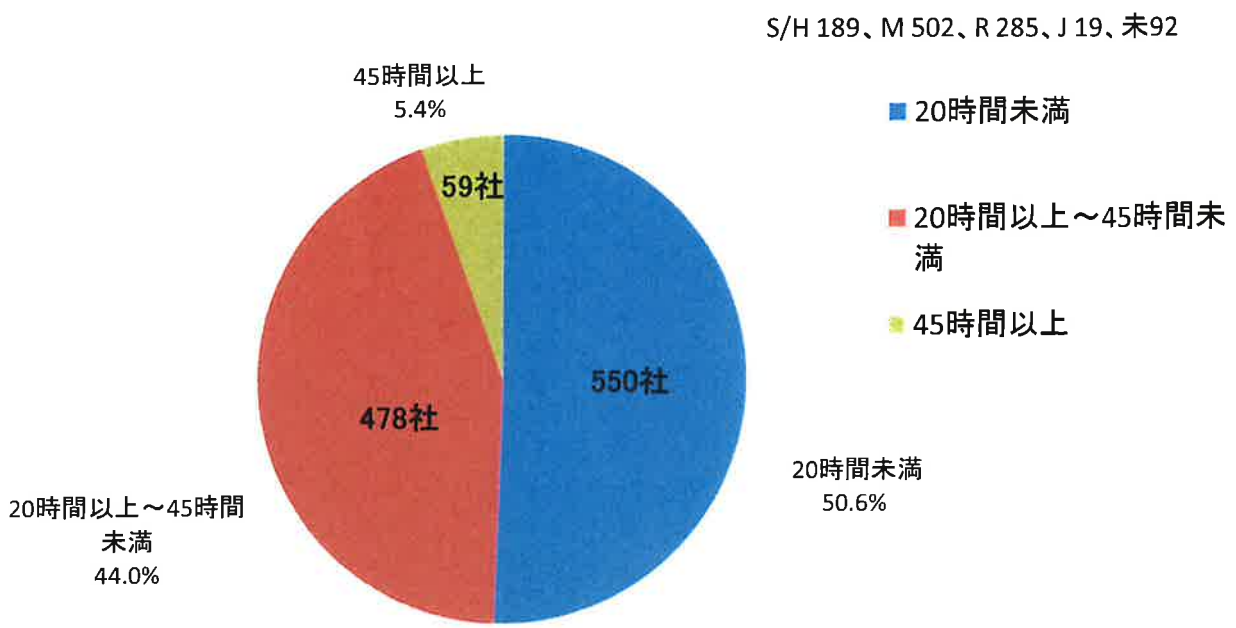
設問10 従業員の月あたりの平均残業時間は、概ね何時間ですか。

＜調査結果のポイント＞

●前回調査と比べ、20時間以上の残業をしている会社の比率が減少(54.9%→49.4%)している。

設問10 従業員の月あたりの平均残業時間は、概ね何時間ですか。

有効回答数： 1,087



	試算前提時間	S/H		M		R		J		未		計	
		社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%
20時間未満	10	42	22.2%	240	47.8%	196	68.8%	11	57.9%	61	66.3%	550	50.6%
20時間以上～45時間未満	30	128	67.7%	233	46.4%	83	29.1%	7	36.8%	27	29.3%	478	44.0%
45時間以上	50	19	10.1%	29	5.8%	6	2.1%	1	5.3%	4	4.3%	59	5.4%
合計		189	100%	502	100%	285	100%	19	100%	92	100%	1087	100%

(参考)加重平均で算出したグレード毎の平均残業時間数	28	22	17	19	18	21

(単位:時間/月)

設問11 特に残業が多い従業員の月間の残業時間は、下記のどれですか。

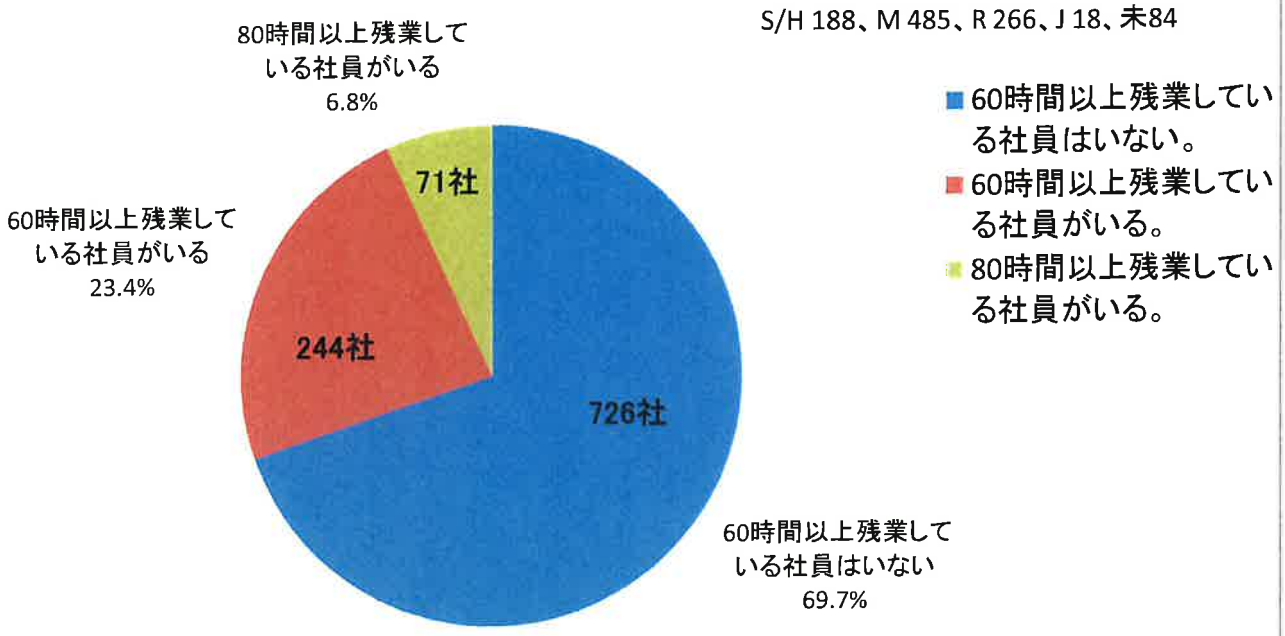
＜調査結果のポイント＞

●「60時間以上の残業をしている社員」の比率は、全体的にやや減少(35.3%→ 30.2%)した。
●「80時間以上の残業をしている社員」の比率は、減少(11.1%→6.8%)している。

設問11 特に残業が多い従業員の月間の残業時間は下記のどれですか。

有効回答数： 1041社

S/H 188、M 485、R 266、J 18、未84



	S/H		M		R		J		未		計	
	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%
60時間以上残業している社員はいない	69	36.7%	346	71.3%	228	85.7%	15	83.3%	68	81.0%	726	69.7%
60時間以上残業している社員がいる	88	46.8%	108	22.3%	32	12.0%	3	16.7%	13	15.5%	244	23.4%
80時間以上残業している社員がいる	31	16.5%	31	6.4%	6	2.3%	0	0.0%	3	3.6%	71	6.8%
合計	188	100%	485	100%	266	100%	18	100%	84	100%	1041	100%

設問12 従業員の平均休日取得日数(実態)は、下記のどれですか。

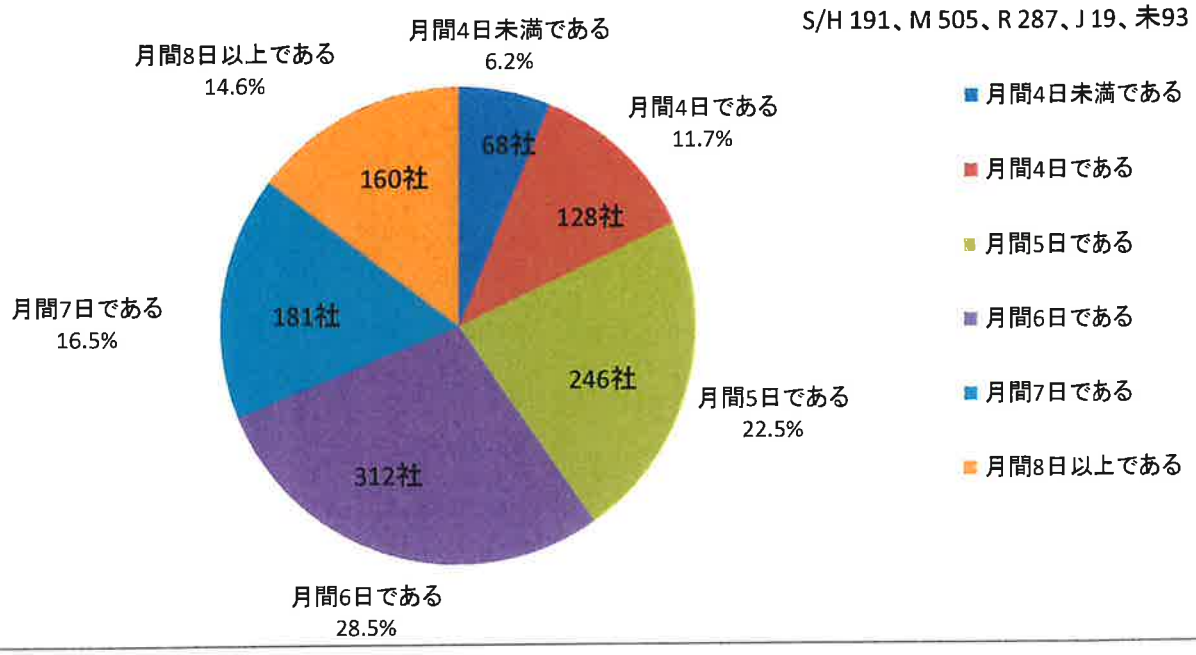
＜調査結果のポイント＞

前回調査と比べ、平均休日取得日数(参考値)が増加(5.5日→5.8日)している。

設問12 従業員の平均休日取得日数(実数)は、下記のどれですか。

有効回答数: 1,095社

S/H 191、M 505、R 287、J 19、未93



	試算前提日数	S/H		M		R		J		未		計	
		社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%	社数	%
月間4日未満である	3	16	8.4%	32	6.3%	16	5.6%	2	10.5%	2	2.2%	68	6.2%
月間4日である	4	8	4.2%	78	15.4%	30	10.5%	3	15.8%	9	9.7%	128	11.7%
月間5日である	5	32	16.8%	107	21.2%	79	27.5%	2	10.5%	26	28.0%	246	22.5%
月間6日である	6	60	31.4%	140	27.7%	87	30.3%	4	21.1%	21	22.6%	312	28.5%
月間7日である	7	30	15.7%	95	18.8%	39	13.6%	4	21.1%	13	14.0%	181	16.5%
月間8日以上である	8	45	23.6%	53	10.5%	36	12.5%	4	21.1%	22	23.7%	160	14.6%
合計		191	100%	505	100%	287	100%	19	100%	93	100%	1095	100%

(参考)加重平均で算出したグレード毎の平均休日取得日数	6.1	5.7	5.7	5.9	6.1	5.8

御見積り一般条件

工事名：〇〇××△△新築工事　　作成日：　2020　年　2月　1日

番号	一　般　事　項
1	「基本事項」
2	本見積書は貴社　２０２０　．　１　．　10　．御支給の設計図（図番　5　～　25　）に基づき積算しています。記載無き部分及び後日変更分につきましては、別途ご精算願います。
3	御支払条件は協議の上決定するものとしますが、材料費については材料検査、又はミルシート提出をもって検収いただくものとします。
4	追加、変更等が発生した場合は随時、追加指示書、変更指示書等の書面を発行いただくものとします。
5	工作図作成工程における質疑回答の遅れ、チェックバックの遅れ、その他製作工程に著しく遅れが発生する事態が生じる場合は現場納入時期の変更、追加精算等、協議を行うものとします。
6	見積有効期限（見積書表紙記載期限）を過ぎた見積に関しては、単価等の再確認をし、場合によっては再見積と致します。
7	鋼材購入時、鋼材価格に極端な変動がある場合、別途精算願います。
8	
9	「働き方改革」
10	建設業の週休２日を実現するため、第２、４土曜閉所運動を展開します（４週６休）
11	「工場製作関係」
12	入熱・パス間温度管理は、溶接要領書承諾によるものとします。
13	他業者雑部材取付用、捨てピース等は別途とし、必要な場合、別途精算願います。
14	錆止め塗装の色は、赤錆色で見積をしています。グレー色、または他の色の場合、別途御精算お願いします。軽量Ｃ型鋼及び角パイプはJIS　K5621(赤錆色）相当メーカーの塗装品を使用しその再塗装は見積に含みません。
15	亜鉛メッキの場合軽量C型鋼はHDZ12相当のメーカーメッキ品を使用し、その溶融亜鉛メッキは見積に含んでいません。

〇〇××△△株式会社

［理19－8－報5②］〈別紙〉

（一社）全国鐵構工業協会　標準様式

御見積り一般条件

工事名：〇〇××△△新築工事　　作成日：　2020　年　2月　1日

番号	一　般　事　項
16	特殊材料（例えばＳＳ400以外）の材料及び外法一定Ｈ形鋼等のうち、納期が間に合わず、やむを得ずＢＨ等に変更する場合、その差額は別途精算願います。
17	「現場、輸送関係」
18	現場搬入車両の車種や低積載等による台数割増しの場合は、別途協議の上、割増をいただきます。
19	搬入車両は見積時打合せ通りの車種とし、特に指定のない限り、午前おろしとします。
20	搬入口が狭い、運搬上、重機計画上、柱・梁を切断せざるを得ない場合、柱・梁工場加工費・現場溶接を別途御精算お願いします。
21	現場での追加常用工事が発生した場合、１工数30,000円にて申し受けます。（溶接機、ガスボンベ等消耗品は別途）
22	工場錆止め塗装は仕上げ塗装ではありません。垂れ、靴跡、運搬時のキズ、タッチアップ時のハケ跡等の補修は別途とします。
23	現場における労災保険は貴社にてご負担願います。
24	通常建ち直し以外の二次部材等の現場調整作業は別途とします。
25	現場以外に製品仮置場が必要な場合(現場内に仮置出来ない場合は近隣地仮置場）及び仮置場リン木並びに地組用枕木は無償貸与願います。
26	必要に応じて高所作業車等の安全設備、及び養生敷き鉄板等の仮設設備は無償貸与願います。
27	必要に応じて誘導員及び監視人（交通、火気）は無償貸与願います。
28	現場での実測及び墨出しは別途とします。
29	休日、祝日、深夜作業の場合は別途協議の上、割増をいただくこととさせていただきます。
30	現場作業者用詰所及び倉庫、ならびに現場作業員駐車場は無償貸与願います。

〇〇××△△株式会社

御見積り一般条件

工事名：〇〇××△△新築工事　　作成日：　2020　年　2月　1日

番号	一　般　事　項
31	工事用電源(100Ｖ・200Ｖ共)及び消火器等の消火設備、ならびに工事用給水は無償支給願います。
32	「安全関係」
33	安全設備（水平ネット・親綱・親綱支柱・ハイステージ・スカイハンガー・足場板等の資材一式）は無償支給願います。
34	安全ネット・親ロープ・支柱・ネットフック等の払い手間は見積もりに含んでいません。
35	「検査関係」
36	製品検査は原則１回とし、工区別や節毎の検査により複数回実施となる場合は、別途見積させていただきます。
37	材料検査はミルシート提出のみとし、材料機械試験や材料照合検査（トレサビ）は別途とします。
38	第3者検査（超音波、外観、浸透他）は別途とします。
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

〇〇××△△株式会社

鉄骨工事見積範囲チェックリスト【工場製作分】

工事名：○○××△△新築工事　　作成日：　2020 年　2 月　1 日

項目	範囲 含む	範囲 別途	備考	項目	範囲 含む	範囲 別途	備考	項目	範囲 含む	範囲 別途	備考
【本体鉄骨】				コンクリート流れ止め	○			工場錆止め（JIS K-5674）	○		
柱・大梁・小梁・間柱・ブレース	○			小口塞ぎ	○			工場２回塗り	○		
ＨＴＢ、中ボルト	○			デッキ受（梁継手部）	○			溶融亜鉛メッキ（HDZ － 55）	○		
アンカーボルト	○		本柱のみ	デッキ受（柱廻り）	○			メッキ摩擦面処理（リン酸処理）	○		
既製柱脚(ﾊｲﾍﾞｰｽ、ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ、等)	○			デッキ受（段差部）	○						
運搬車両特殊車両申請費用	○			デッキ受（嵩上げ部）	○			【仮設金物・安全金物】			
				スタッドジベル工場打ち（梁天）		○		建方用タラップ	○		
【階段・手摺】								タラップサヤ管		○	
屋内階段（錆止め仕様）	○			【付帯鉄骨・設備関係】				柱吊りピース	○		
階段受柱・受梁	○			設備架台		○		歪直し（建ち直し）ピース		○	
屋内階段手摺（錆止め仕様）	○			目隠しルーバー受鉄骨		○		親綱用フック	○		
点検用タラップ		○		エレベーターファスナー	○			水平ネットフック	○		
				エレベーター間柱	○						
【付帯鉄骨・屋根関係】				エレベーター各階三方枠		○		【スリーブ関係】			
母屋		○		エレベーター敷居受け		○		梁貫通スリーブ孔明け		○	
パラペット				エレベーター吊りビーム	○			フリードーナツ		○	
庇（錆止め仕様）	○			エレベーター機械室架台		○					
								【試験・検査】	○		
【付帯鉄骨・内外装関係】		○		【付帯鉄骨・雑鉄骨】				材料検査（ミルシート提出）	○		
ＰＣファスナー		○		コンクリート充填孔		○		現寸検査		○	
シャッター下地	○			他業種用溶接一次先行ピース		○		製品検査	○		
								溶接施工確認試験		○	
【付帯鉄骨・床工事関係】				【塗装・メッキ】				軸力導入試験		○	
デッキプレート	○			下地処理（C種）（2種）手、動力工具程度	○						

○○××△△株式会社

鉄骨工事見積範囲チェックリスト【現場施工分】

工事名：○○××△△新築工事　　作成日：　2020 年　2 月　1 日

項目	範囲		備考	項目	範囲		備考	項目	範囲		備考
	含む	別途			含む	別途			含む	別途	
【地組・建て方】				補修塗装（タッチアップ）	○			建て方用タラップ（掛払い別途）	○		
建て方合番	○			現場溶接（キズ補修）		○		トピック取付（掛のみ払いは別途）	○		
建て方鳶手間	○							高所作業車		○	
建て方用重機		○		【床工事関係】							
建て入れ歪直し作業	○			スタッドジベル現場打ち（梁上）	○						
ワイヤー	○			デッキプレート現場敷込	○						
建て方時仮ボルト	○			デッキプレート荷揚げ用重機		○					
				デッキ溶接用電源		○					
【アンカー・フレーム関係】				スタッドジベル打設用電源	○						
アンカー計測		○		デッキプレート焼板栓溶接		○					
アンカーフレーム据付		○		コンクリート流れ止め	○						
アンカーボルト据付・修正	○			小口フサギ	○						
ハイベース等既製品アンカー据付	○			段差コンクリート流れ止め	○						
【現場鍛冶・現場溶接】				【荷卸し、運搬】							
高力ボルト手配	○			製品荷卸し	○						
本締め工具一式	○			製品荷卸し用重機		○					
ＨＴＢ本締め作業	○			製品荷卸し合番							
鍛冶工具類、ガス類一式	○			リン木・敷鉄板等の用意		○					
現場溶接用エンドタブ		○		製品仮置き場の整備		○					
仮設金物切断		○									
本締め用電源		○		【仮設】							
現場溶接防風養生		○		親綱取付（掛のみ払いは別途）	○						
現場溶接火花養生		○		水平ネット取付（掛のみ払いは別途）	○						

○○××△△株式会社

1.作成日
2020 年 2 月 1 日

記入シート

2.工事名
○○××△△新築工事
3.会社名
○○××△△株式会社

一般事項	チェック
「基本事項」	☑
本見積書は貴社 2020 . 1 . 10 . 御支給の設計図に基づき積算しています。記載無き部分及び後日変更分につきましては、別途ご精算願います。	☐
本見積書は貴社 2020 . 1 . 10 . 御支給の設計図(図番 5 ～ 25)に基づき積算しています。記載無き部分及び後日変更分につきましては、別途ご精算願います。	☑
御支払条件は協議の上決定するものとしますが、材料費については材料検査、又はミルシート提出をもって検収いただくものとします。	☑
追加、変更等が発生した場合は随時、追加指示書、変更指示書等の書面を発行いただくものとします。	☑
工作図作成工程における質疑回答の遅れ、チェックバックの遅れ、その他製作工程に著しく遅れが発生する事態が生じる場合は現場納入時期の変更、追加精算等、協議を行うものとします。	☑
見積有効期限(見積書表紙記載期限)を過ぎた見積に関しては、単価等の再確認をし、場合によっては再見積と致します。	☑
鋼材購入時、鋼材価格に極端な変動がある場合、別途精算願います。	☑
	☑
	☐
「働き方改革」	☑
建設業の週休2日を実現するため、第2、4土曜閉所運動を展開します(4週6休)	☑
建設業の週休2日を実現するため、毎週土曜閉所運動を展開します(4週8休)	☐
	☐
	☐
	☐
「工場製作関係」	☑
入熱・パス間温度管理は、溶接要領書承諾によるものとします。	☑
他業者雑部材取付用、捨てピース等は別途とし、必要な場合、別途精算願います。	☑
錆止め塗装の色は、赤錆色で見積をしています。グレー色、または他の色の場合、別途御精算お願いします。軽量C型鋼及び角パイプはJIS K5621(赤錆色)相当メーカーの塗装品を使用しその再塗装は見積に含みません。	☑
亜鉛メッキの場合軽量C型鋼はHDZ12相当のメーカーメッキ品を使用し、その溶融亜鉛メッキは見積に含んでいません。	☑
特殊材料(例えばSS400以外)の材料及び外法一定H形鋼等のうち、納期が間に合わず、やむを得ずBH等に変更する場合、その差額は別途精算願います。	☑
	☐
	☐
	☐
「現場、輸送関係」	☑
現場搬入車両の車種や低積載等による台数割増しの場合は、別途協議の上、割増をいただきます。	☑
搬入車両は見積時打合せ通りの車種とし、特に指定のない限り、午前おろしとします。	☑
搬入口が狭い、運搬上、重機計画上、柱・梁を切断せざるを得ない場合、柱・梁工場加工費・現場溶接を別途御精算お願いします。	☑
現場での追加常用工事が発生した場合、1工数30,000円にて申し受けます。(溶接機、ガスボンベ等消耗品は別途)	☑
工場錆止め塗装は仕上げ塗装ではありません。垂れ、靴跡、運搬時のキズ、タッチアップ時のハケ跡等の補修は別途とします。	☑
現場における労災保険は貴社にてご負担願います。	☑
通常建ち直し以外の二次部材等の現場調整作業は別途とします。	☑
現場以外に製品仮置場が必要な場合(現場内に仮置出来ない場合は近隣地仮置場)及び仮置場リン木並びに地組用枕木は無償貸与願います。	☑
必要に応じて高所作業車等の安全設備、及び養生敷き鉄板等の仮設設備は無償貸与願います。	☑
必要に応じて誘導員及び監視人(交通、火気)は無償貸与願います。	☑

【工場製作分】

1.作成日

2020 年 2 月 1 日

記入シート

2.工事名

〇〇××△△新築工事

3.会社名

〇〇××△△株式会社

項目	備考	チェック	範囲	
			含む	別途
【本体鉄骨】		☑		
柱・大梁・小梁・間柱・ブレース		☑	〇	
特殊ブレース(アンボンド、二重管、鋼板壁等)		☐		
HTB、中ボルト		☑	〇	
アンカーボルト	本柱のみ	☑	〇	
既製柱脚(ハイベース、ベースバック、等)		☑	〇	
鉄骨運搬費		☐		
運搬車両特殊車両申請費用		☑	〇	
		☑		
		☐		
【階段・手摺】		☐		
鉄骨階段		☐		
屋内階段(錆止め仕様)		☑	〇	
屋内階段(亜鉛メッキ仕様)		☐		
屋外階段(錆止め仕様)		☐		
屋外階段(亜鉛メッキ仕様)		☐		
階段受柱・受梁		☑	〇	
屋内階段手摺(メッキ仕様)		☐		
屋内階段手摺(錆止め仕様)		☑	〇	
屋外階段手摺(メッキ仕様)		☐		
屋外階段手摺(錆止め仕様)		☐		
螺旋階段		☐		
螺旋階段手摺		☐		
一般部(階段以外)手摺		☐		
階段室廻りルーバー		☐		
点検用タラップ		☑		〇
点検台		☐		
屋上昇降用タラップ		☐		
タラップ踊場		☐		
		☑		
		☐		
【付帯鉄骨・屋根関係】		☐		
母屋		☑		〇
キャットウォーク		☐		
キャットウォーク手摺		☐		
パラペット		☑		
広告塔		☐		
庇(錆止め仕様)		☑	〇	
庇(亜鉛メッキ仕様)		☐		
モニター鉄骨(ハト小屋)		☐		
下屋鉄骨		☐		
トップライト下地		☐		
ルーフファン受下地		☐		
タイトフレーム受け(折板受け)		☐		
天井下地(天井吊り)		☐		
ぶどう棚		☐		
		☑		
以下省略		☐		
		☐		
		☐		
		☐		
		☐		
		☐		
		☐		
		☐		
		☐		

【現場施工分】

1.作成日

2020 年 2 月 1 日

記入シート

2.工事名

○○××△△新築工事

3.会社名

○○××△△株式会社

項目	備考	チェック	範囲	
			含む	別途
【地組・建て方】		☑		
地組合番		☐		
地組鳶手間		☐		
地組用重機		☐		
建て方合番		☑	○	
建て方鳶手間		☑	○	
建て方用重機		☑		○
スパン調整作業		☐		
高さ調整作業		☐		
建て入れ歪直し作業		☑	○	
ワイヤー		☑	○	
金矢		☐		
建て方消耗品・器具		☐		
地組時仮ボルト		☐		
建て方時仮ボルト		☑	○	
		☑		
		☐		
		☐		
【アンカー・フレーム関係】		☑		
アンカー計測		☐		○
アンカーフレーム		☑		
アンカーフレーム据付		☑		○
アンカーボルト据付・修正		☐	○	
アンカーフレーム据付用重機		☑		
ハイベース等既製品アンカー据付		☐	○	
ケミカルアンカー打設		☐		
ホールインアンカー打設		☐		
アンカーテンプレート(本柱用)		☐		
アンカーテンプレート(間柱他用)		☑		
		☐		
		☐		
【現場鍛冶・現場溶接】		☑	○	
高力ボルト手配		☑	○	
本締め工具一式		☑	○	
HTB本締め作業		☑	○	
鍛冶工具類、ガス類一式		☑		○
現場溶接用エンドタブ		☐		
エンドタブ切断		☑		○
仮設金物切断		☐		
コンクリート充填孔塞ぎ		☐		
現場溶接用機器類一式		☐		
溶接作業		☐		
溶接		☑		○
本締め用電源		☑		○
現場溶接防風養生		☑		○
現場溶接火花養生		☑	○	
補修塗装(タッチアップ)		☑		○
現場溶接(キズ補修)		☐		
鍛冶、溶接機器用重機		☑		
		☐		
以下省略		☐		
		☐		
		☐		
		☐		
		☐		

一般社団法人 全国鐵構工業協会　推奨様式

2019年6月28日　現在

○○○○○　△△△工事

建て方開始予定日　2019年8月26日

最重要事項　階段の製作がタイトな工程の為、返却希望日厳守でお願い致します。

【 工作図の進捗状況 】

	項目	チェック内容	チェックバック				承諾		進捗状況
			提出日	返却希望日	受領日	進捗(遅延日数)	承諾希望日	承諾日	
1	本体	階高・スパン	6月1日	6月15日	6月10日	-	7月1日	6月28日	承諾済み
2	付帯	床段差	6月1日	6月15日	6月17日	▲2日	7月1日	6月28日	承諾済み
3	付帯	梁貫通孔	6月20日	6月25日	6月28日	▲3日	7月1日		貴社チェック済み、承諾待ち
4	付帯	階段	6月22日	7月1日		-	7月10日		貴社チェック中
5	付帯	ECP下地	6月25日	7月5日		-	7月15日		貴社チェック中
6						-			
7						-			
8						-			
9						-			
10						-			
11						-			
12						-			
13						-			
14						-			
15						-			

【主なチェック項目】

本体

1 階高、スパン、屋根勾配、部材リスト(材質、サイズ)、アンカー位置、継手位置、仕口ハンチ
2 溶接基準、継手基準

付帯

1 梁貫通孔
2 エレベーター(ベンチレーター、ダムウェーダー)
3 階段
4 デッキ、コンクリート止め
5 床段差
6 スタッドジベル
7 シャッター(ハンガードア など)
8 胴縁関係(基本割付、開口位置)
9 母屋関係(基本割付、パラペット、タイトフレーム下地
10 外壁下地(ALC、ECP、PC、CW)
11 トップライト下地
12 捨てPL(LGS、樋)
13 目隠しルーバー
14 エキスパンションジョイント
15 設備架台
16 防煙垂れ壁、間仕切り下地
17 キャットウォーク
18 天井下地(基本割付、レベル、安全仮設の検討)
19 安全仮設金物
20 建て方工区(社内工区分け)
21 塗装範囲(塗装種類)、メッキ範囲
22
23
24

- 現場工程の円滑化と鉄骨の品質確保のため、本工作図のチェックバック及びご承諾の早期対応についてご協力をお願いします。
- 本工作図のご承諾後に材料発注、並びに工場加工を開始させていただきます。
- 材料発注から弊社工場への搬入までに○○日、材料納入後の鉄骨本体の標準加工日数が○○日、
  合計○○日が材料発注日から建方開始日までに必要な期間となります。
- 上表の各希望日は、建方開始を予定日通り実施するために設定しています。 工作図承諾の遅延は建方開始日に影響しますので、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

施工業者			鉄骨製作業者		
会社名	○○建設㈱		会社名	㈱○○鉄工所	
担当者	△△△△	△△△△	担当者	△△△△	△△△△
連絡先	○○県○○市 ○○○　○○－○ TEL E-mail		連絡先	○○県○○市 ○○○　○○－○ TEL E-mail	

理 追加資料1

2020年2月10日

一般社団法人 全国鐵構工業協会
会　長　米森　昭夫　様

一般社団法人 日本溶接協会
会　長　菅原　周二

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業への協力のお願い

拝啓　貴協会ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当協会の事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では厚生労働省が公募している「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」への入札を計画しております。

これは先般、貴協会にもご協力いただき、全国の溶接関連企業に対し就職氷河期世代の雇用ニーズ調査をした結果、多くの企業にとっての人手不足は深刻で、殊に建築鉄骨では就職氷河期世代であっても一定の教育訓練がなされた専門資格取得者には雇用ニーズが多くあることが判明しました。また、社会問題化している就職氷河期世代の雇用促進に対する国策に、当協会が呼応して取り組むことに賛同と期待を寄せる企業が多いこともわかりました。

当協会としましては、ミッションに掲げる溶接を通じた社会貢献活動の一環として、本事業に応札することは当協会の社会的使命であると考えております。

しかしながら大変大きな事業であり、実行にあたっては貴協会をはじめ多くの団体の協力が必要となります。

つきましては、厚生労働省の仕様書における事業内容のうち下記4項目において、「建築鉄骨の業界団体」という表現で、貴協会の協力を想定した計画とさせていただくことをご承諾いただけますようお願い申し上げます。

なお、首尾よく落札でき、詳細な計画策定の際には、改めて具体的方法をご相談させていただきます。

記

1. 訓練生募集　（→ハローワークとの連携で広く募集を行うが、貴協会傘下企業の非正規社員も対象で想定）
2. 業界団体傘下の求人企業等における職場見学・職場体験の実施
3. 訓練生の就職支援　（→貴協会傘下企業との雇用マッチングを想定）
4. 業界内等における就職氷河期世代の方の正社員就職、正社員転換及び処遇改善等の気運醸成に向けた働きかけ　（→努力目標であり、条件ではない）

※括弧内は当協会による補足。

別添 就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業に係る仕様書を参照ください。

なお、1.訓練生募集、3.就職支援についてはいずれもアンケートにおいて可能性のある企業は把握できており、ピンポイントの対応ができる見込みです。

以上

8．事業の実施に係る具体的内容

8.1 事業の全体像

8.2 提案者が本事業を実施することが就職氷河期世代の方の安定就労に資する理由

8.3 事業実施のスケジュール

8.4 事業の実施体制

8.5 訓練の実施規模

8.6 実施しようとする事業の内容

（1）本事業において習得させようとする資格、知識及び技能等と当該資格、知識及び技能等が就職氷河期世代の方の安定就労につながると考えられる理由

（2）座学と実習又は現場実習及び職場見学・職場体験を行う訓練期間

（3）訓練生募集の方法
①ハローワークからの募集
②ホームページやSNS等のメディアを通じた募集
③当協会と協力関係にある建築鉄骨や板金溶接業界団体傘下の企業からの募集

（4）訓練生に対するキャリアコンサルティング、就職支援の方法
①当協会と協力関係にある建築鉄骨や板金溶接業界団体傘下の企業で採用計画のある企業へのインターンシップを通じた情報提供
②ハローワークによるキャリアコンサルティング
③必要に応じ外部団体に委託

（5）訓練における職場見学・職場体験の受け入れ先として及び訓練後の就職先として想定される事業所等の必要数の確保及び質の担保の方法
①当協会と協力関係にある建築鉄骨や板金溶接業界団体傘下の企業へのアンケートによる実ニーズの把握と、ニーズ（地域、人数）に見合った教育計画の立案

（6）業界内等に対する正社員雇用、正社員転換及び処遇改善等の気運醸成に向けた取組
①当協会と協力関係にある建築鉄骨や板金溶接業界団体への働きかけとその傘下の意欲のある企業との連携

（7）その他

8.7 他の委託費・補助金との重複排除

8.8 所要見込み額の詳細

理 追加資料2

無線操作式クレーンに関する打合せ（日本クレーン協会）要旨（案）

Ⅰ．日時：2020年2月12日（水）11：00～12：10

Ⅱ．場所：（一社）日本クレーン協会　事務所

Ⅲ．出席者
（日本クレーン協会）技術普及部：坪田部長、香川調査役
（全構協）村山副会長、渡辺支部長（WGリーダー）、（事務局）平井（記）

Ⅳ．議事要旨
＜全構協＞
・前回ヒアリングさせていただいた者が退社してしまったこともあり、本日は、あらためご相談をスタートさせていただきたいと思い、お時間をいただきました。よろしくお願い致します。
・今回の話しは、ご承知の通り、無線式クレーンの実技試験の内容が、現場の実作業（使用実態）と乖離しており、これを現場作業に則した試験内容に出来ないかという当協会構成員からの意見を受け、ご相談させていただいております。

＜クレーン協会＞
・前回のお話では、どちらかと言うと試験が難しいので、易しくして欲しいという趣旨と受け取っていましたが。それよりも、実技試験の内容と現場作業との乖離をなくし、作業実態に則した実技試験に見直したいという事ですか？

＜全構協＞
・その通りです。１つの考え方として、「無線式クレーン限定免許」を新設出来ないかという事です。その取組みを進めるにあたり、“是非、クレーン協会に、先頭に立って厚労省に陳情に行っていただきたい”、というお願いです。

＜クレーン協会＞
・趣旨は理解出来ますが、色々と問題があると思います。

1）現在、世の中には、多種多様なクレーンがありますが、その種類毎に限定免許制度が存在している訳ではありません。最上位の「クレーン・デリック免許」に多くのクレーン免許が統合されているというのが実態です。その中で、何故、無線式だけに限定免許の必要があるのかということを説明する必要があります。

2）現在の実技試験の内容において、不十分な点については、そのクレーンを使用する業界が、独自に自主講習等を開催し、受講を義務付けているというケースもあります。（例えば、タワークレーン運転者に対しては、建設業団体が独自に講習を実施している。）無線式についても、そういう方法で対応出来るのでは、という指摘を受ける可能性があります。

3）日本クレーン協会としては、無線操作式クレーン作業に関する様々な問題、特に安全に関する情報、課題等のデータを保有していないので、全構協側で、そのデータをまとめていただかないと行政への陳情に行く事は出来ないと思います。

4）また、上記データをまとめた上で、陳情を行ったとしても、最終的な結果が得られるまでには、かなりの時間を要すると思います。具体的には、クレーン協会が対応した事例ですが、「告示」レベルの改正でも、約２３年もかかったという例があります。今回は、法律改正になりますから、何か特別な力（労基署、省庁からの要請等）が働かない限り、相当の時間がかかると思います。

＜全構協＞
・ＷＧを立ち上げて検討を行うとした場合、当協会の知識と経験だけでは、難しいと思われますが、ご協力をいただくことは可能でしょうか？

＜クレーン協会＞
・協力のお願いをされた場合、クレーン協会としては人を派遣することは出来ませんが、クレーン資格等に携わってこられた方々を個人として紹介する事は出来ます。また、クレーンメーカーに声をかければ、参加してもらうというのも可能だと思います。クレーンメーカーは、商売に繋がるし、使用における課題等についても分っているはずです。
・もう１点、独自に自主講習を行い、それによって安全面等で改善された内容をまとめ、講習の必要性、有効性をクレーン協会に上げていただき、その内容を実技試験に入れ込む様陳情するという、段階的な進め方を行う必要があると思いますが・・。
・一方、独自の講習等を行い効果が出たら、それで十分であり、限定免許新設までの必要はないとの意見が出てくるかもしれませんね。(機上クレーンを使った実技試験をやめるという事には繋がりませんが・・・）

＜全構協＞
・色々とハードルが高い様ですが、「床上運転式（メッセンジャー方式）クレーン」が出た時、スタート時点は、(現在の無線式と同様に）機上操作式クレーンで実技試験を行っていましたが、平成１０年に床上運転式限定免許が新設されたと認識しています。その時と同じ様な取組みを、検討する事は出来ないものでしょうか？

＜クレーン協会＞
・床上運転式限定免許の新設の経緯は、(その時在籍をしていなかったので）承知していません。また、無線式についてどう考えるのか、クレーン協会では判断出来ません、行政が考えるテーマです。

＜全構協＞
・色々な点について勉強させていただきました。
まずは、厚労省に説明するための資料を全構協でまとめないと陳情には行けないという事。
そのための検討を行う場合は、必要があれば、専門的な知識のある方を（個人として）紹介していただける可能性がある事。
いずれにしても、過去の例から考えるとからなりの時間がかかる取組みである事。

まずは、持ち帰り検討してみます。その結果によっては、またご相談させていただきます。

以上